

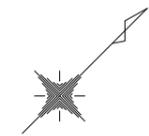
令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業 出雲地区 斜面復旧(その4)工事

図 面 目 録

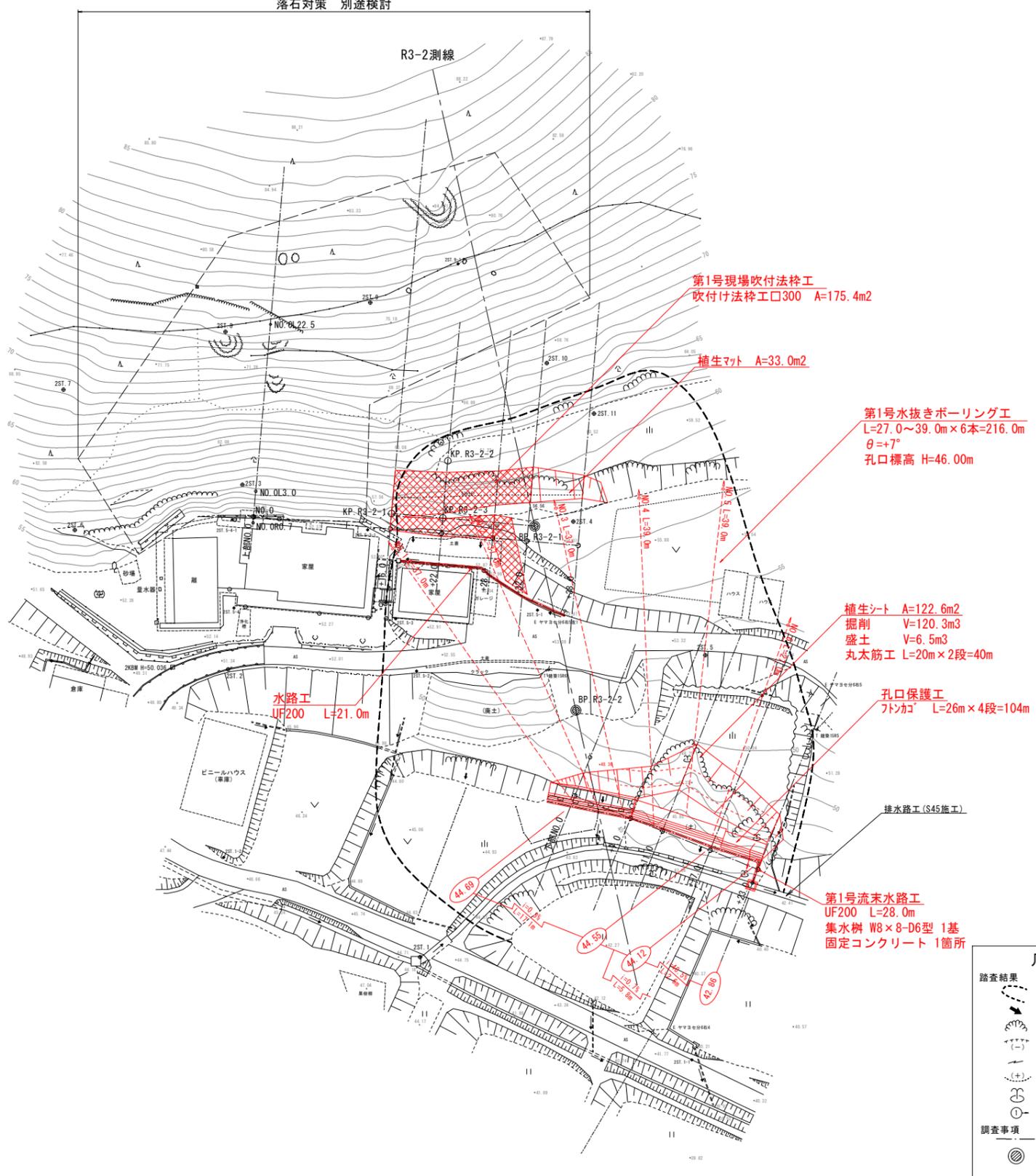
図面番号	図面の名称		備考
1	地区 A	山寄地区 計画一般平面図	
2		山寄地区-① 平面図	
3		山寄地区-① 地質断面図	
4		山寄地区-① 横断面図(1)	上部No. 0+16.0
5		山寄地区-① 横断面図(2)	上部No. 0+22.0~28.0
6		山寄地区-① 横断面図(3)	上部No. 0+32.0~38.0
7		山寄地区-① 横断面図(4)	下部No. 0~+23.0
8		山寄地区-① 孔口保護工構造図	
9		山寄地区-① 現場吹付法枠工構造図	
10		山寄地区-① 現場吹付法枠工展開図	積算用参考図
11		山寄地区-① 水路工構造図	
12		山寄地区-① 施工計画平面図	積算用参考図
13	地区 B	角谷地区 計画一般平面図	
14		角谷地区-① 平面図	
15		角谷地区-① 地質断面図	
16		角谷地区-① 横断面図	
17		角谷地区-① 現場吹付法枠工構造図	
18		角谷地区-① 鉄筋挿入工構造図	
19	角谷地区-① 施工計画平面図	積算用参考図	
20	地区 C	須原・堂原地区 計画一般平面図	
21		須原・堂原地区-① 平面図	
22		須原・堂原地区-① 地質断面図	
23		須原・堂原地区-① 横断面図	
24		須原・堂原地区-① 現場吹付法枠工構造図	
25		須原・堂原地区-① 鉄筋挿入工構造図(1)	
26		須原・堂原地区-① 鉄筋挿入工構造図(2)	
27		須原・堂原地区-① 施工計画平面図	積算用参考図
28	地区 D	茶ノ木原地区 計画一般平面図	
29		茶ノ木原地区-① 平面図	
30		茶ノ木原地区-① 地質断面図	
31		茶ノ木原地区-① 横断面図(1)	No. 0~+17.4
32		茶ノ木原地区-① 横断面図(2)	No. 1~+21.6
33		茶ノ木原地区-① ブロック積擁壁詳細図	
34		茶ノ木原地区-① 現場吹付法枠工構造図	
35		茶ノ木原地区-① 水路工構造図	
36		茶ノ木原地区-① 施工計画平面図	積算用参考図
37		茶ノ木原地区-① 自由勾配側溝構造図	
合計	37		

対策工事平面図 R3-2ブロック

落石対策 別途検討



S=1:300 (A1)
S=1:600 (A3)



第1号水抜きボーリング工

ボーリング番号	掘進長	掘進方位	孔口間隔	勾配	孔口標高
NO. 1	37.00m	N 80.5° W	46.00m	+7°	
NO. 2	37.00m	N 68.5° W			
NO. 3	37.00m	N 57.5° W			
NO. 4	39.00m	N 47.5° W			
NO. 5	39.00m	N 38.5° W			
NO. 6	27.00m	N 25.0° W			

ΣL=216.00m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)

対策工凡例

	水抜きボーリング工
	孔口保護工 (フトンカゴ)
	現場吹付法砕工
	切土工・植生工
	水路工
	丸太筋工

凡例

	踏査結果
	滑動ブロック
	地すべり方向
	滑落段差、崩壊
	沈下・亀裂・小段差
	亀裂
	押し出し・隆起
	湧水
	写真撮影位置図
	調査事項
	解析測線
	調査ボーリング (パイプ歪計・地下水検層)

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事

図面の名称	図面番号
地区A(山寄地区-①) 平面図	2
縮尺: 1/300 (A1), 1/600 (A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	

地質断面図

R3-2測線

山寄地区R3-2測線 安全率一覧表

円弧No.	低水位		高水位		対策工事			目標安全率	土質定数
	LWL	Fs	HWL	Fs	PHWL	第1号水抜きボーリング工	Fs		
R-1		1.26		1.00		L=27.0~39.0m×6本 =216.0m θ=+7° 第1号水抜きボーリング工 L=26.0m×4段=104.0m	1.24	$\gamma t = \gamma_{sat} = 17.70 \text{ kN/m}^3$ $C = 6.93 \text{ kN/m}^2$ $\phi = 14.33^\circ$	
R-2		1.27		1.00			1.26		

※円弧No. R-3は、宅地前面部の地すべりを想定していたが、観測期間中には確認されなかった。

R3-2測線 孔内水位一覧表

孔内水位	令和4年度 調査時水位		
	R4.4.26~R4.9.6(134日間)		
	低水位 LWL (GL-m)	高水位 HWL (GL-m)	変動量 (m)
BP.R3-2-1	6.96	3.31	3.65
BP.R3-2-2	2.35	0.00	2.35
降水条件	総降水量 905mm		
	最大日降水量 91mm (R4.4.26)		
	最大連続降水量 117mm (R4.7.14~7.19)		
	連続降水量 210mm (R4.8.12~8.18)		

※降水量：「土砂災害警戒リアルタイム雨量 神原観測所」のデータによる

(m)
80.00

70.00

60.00

50.00

40.00

30.00

調査ボーリング簡易柱状図 凡例



山寄地区の地質構成 (R3-1, R3-2ブロック)

地質時代	地質名	土質・岩級	記号	N値	地質状況
第四紀 完新世	表土及び崖堆積物	礫混じり粘土	dt	0~8	泥岩質及び安山岩質の礫を混入する粘性土である。植物片や木片を含み、全体に含水比が高く、軟質である。層厚は最大7m程度分布する。
新第三紀 中新世	大森層 安山岩・ テイト溶岩	安山岩主体	0a	—	R3-2ブロック背後斜面に分布する軽石や露岩などあり、一部落石源となる。φ20cm程度の落石が多い。
	強風化泥岩	礫混じり粘土	Km3	4~35	風化が著しく進行した泥岩であり、全体に軟質箇所が多い。層厚は最大で12m程度となり、不均質に凝灰岩を含む。
	風化泥岩	礫混じり粘土 ~固結粘土	Km2	13~44	上位層と比較して固結度が高いが、部分的に亀裂の発達する区間では粘土化する。層厚は最大10m程度となる。
	泥岩	軟岩	Km1	50~300	柱状~棒状コアとして採取される軟岩相当泥岩である。部分的に亀裂が発達するが、軟質部は見られない。

※過大N値は補正

落石対策 別途検討

落石源

鹿避け柵

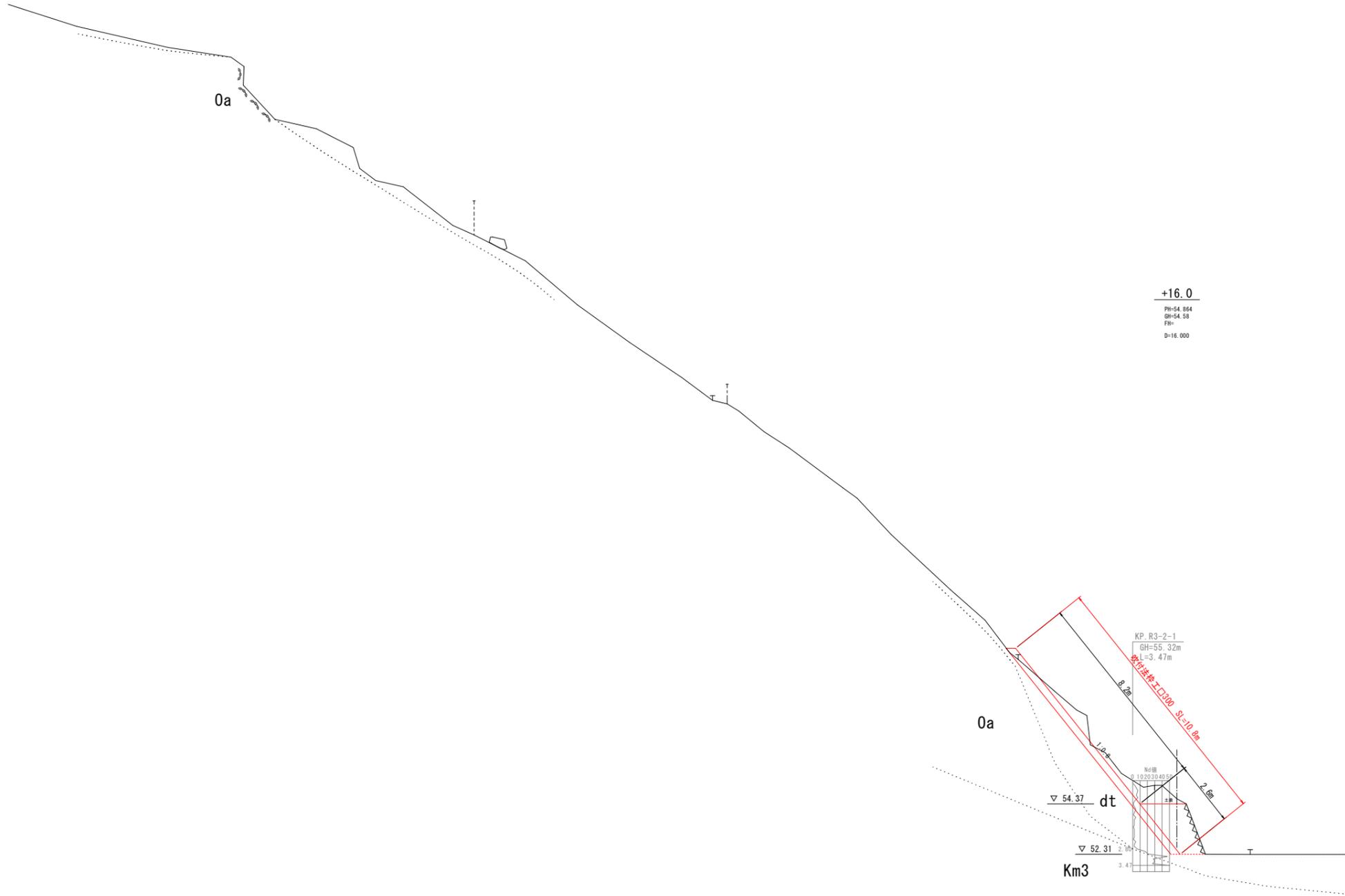
第1号現場吹付法砕工
吹付け法砕工口300 A=175.4m²

第1号水抜きボーリング工
L=27.0~39.0m×6本=216.0m
θ=+7°
孔口標高 H=46.00m

孔口保護工
フトンカゴ
L=26.0m×4段=104.0m

令和5年度 兵庫県緊急地すべり対策事業
出雲地区 斜面復旧(その4) 工事

図面の名称		図面番号
地質断面図 R3-2測線		3
縮尺: 1/200(A1), 1/400(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製原		
図複		



+16.0
 PH=54.864
 GH=54.58
 FH=
 D=16.000

KP. R3-2-1
 GH=55.32m
 FH=51.95m

▽ 54.37 dt

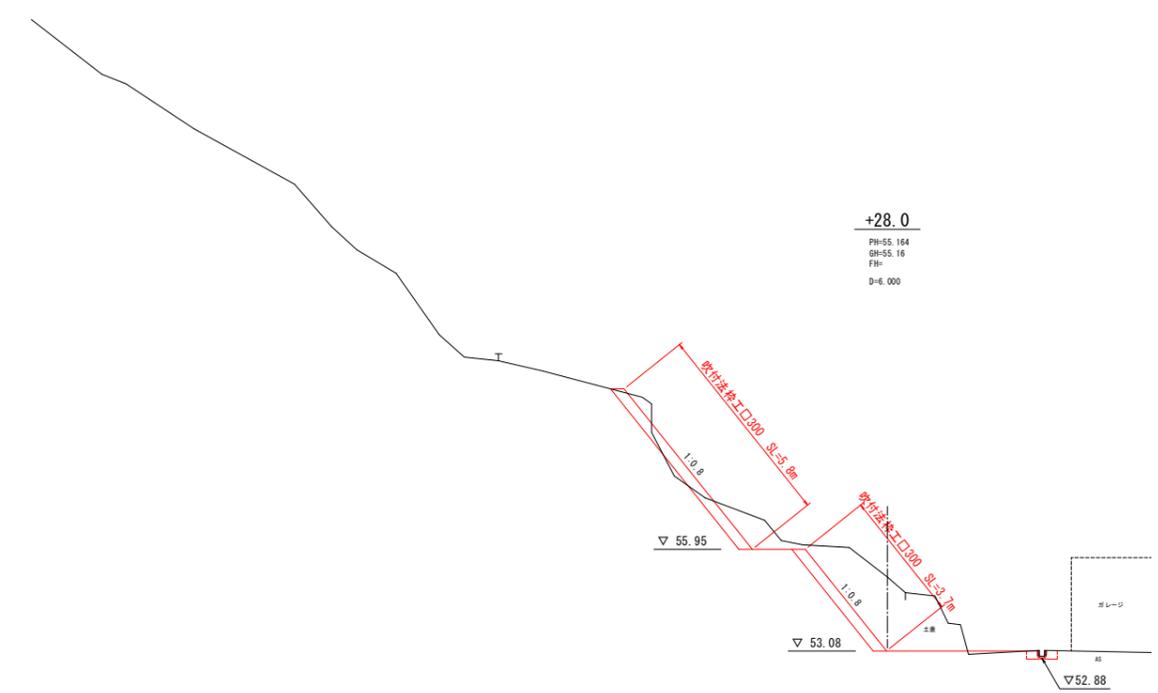
▽ 52.31 Km3

掘削 = 8.5

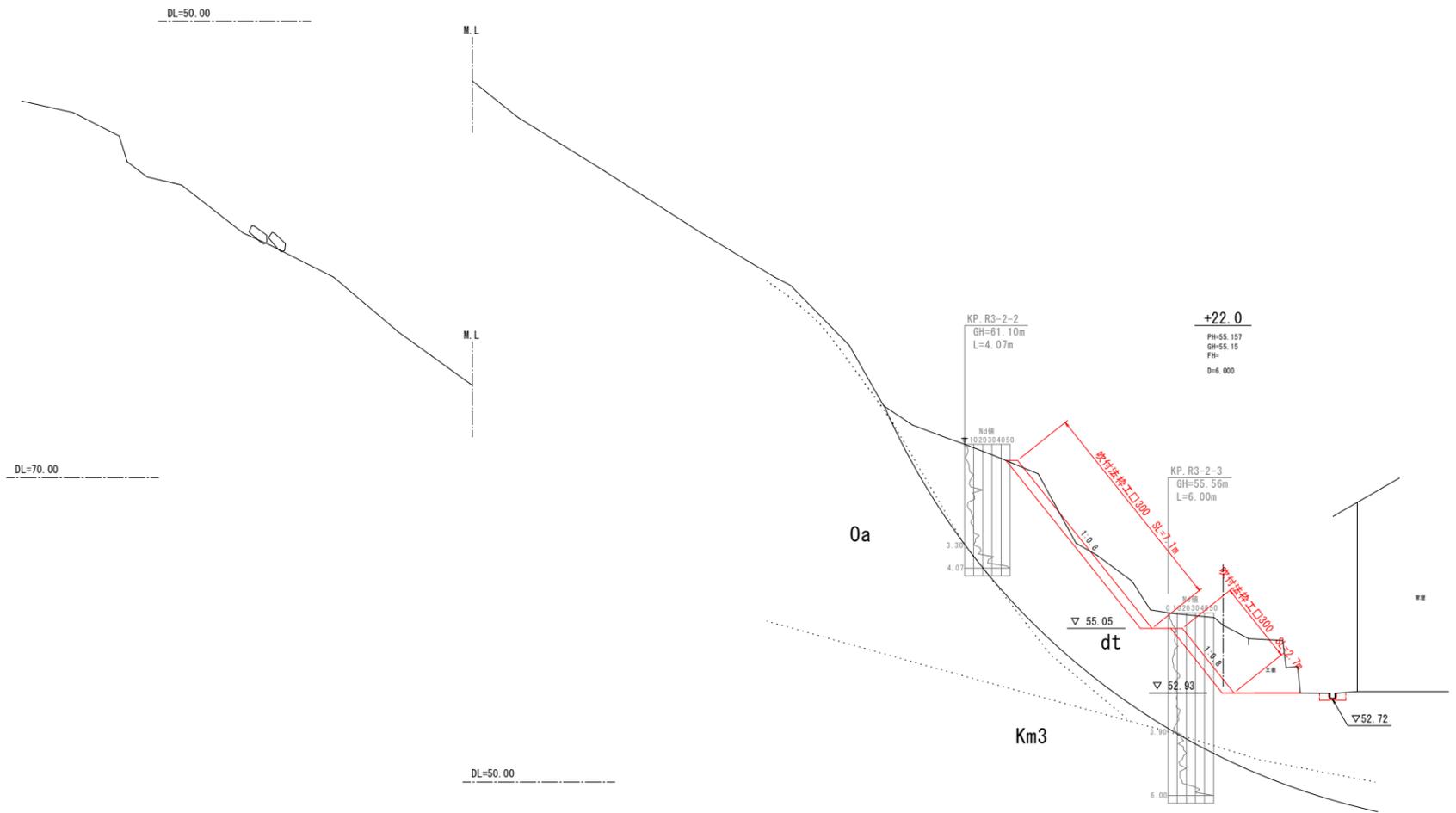
DL=50.00

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業
 出露地区 斜面復旧(その4)工事

図面の名称		図面番号
地区A(山寄地区-①)		4
横断面図(1)		
縮尺 : 1/100(A1), 1/200(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 原 図		
図 複 写		
上部NO.0+16.0		



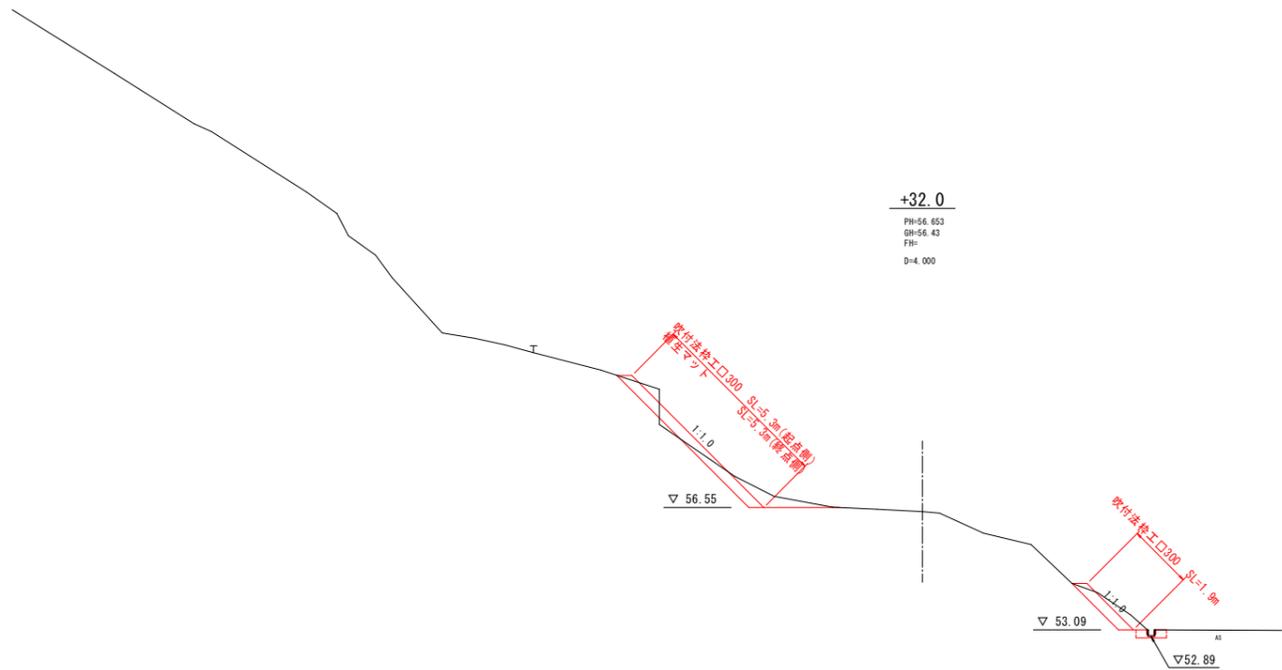
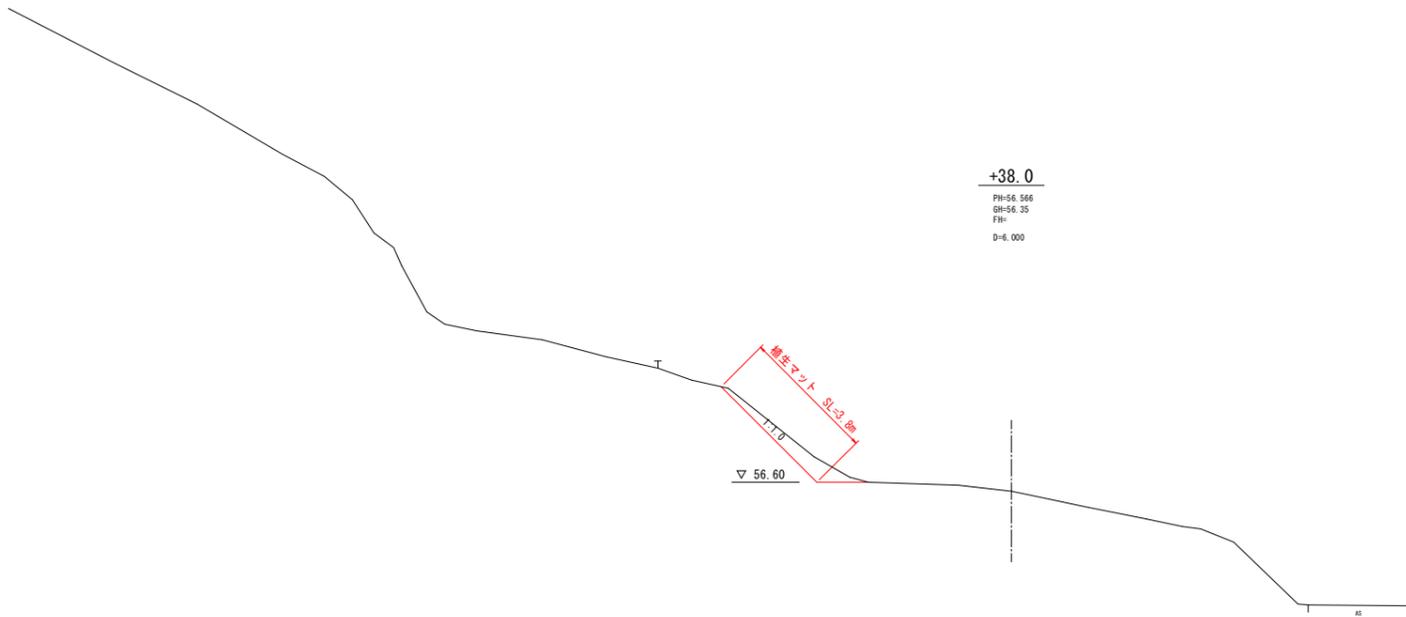
掘削 = 9.7



掘削 = 10.1

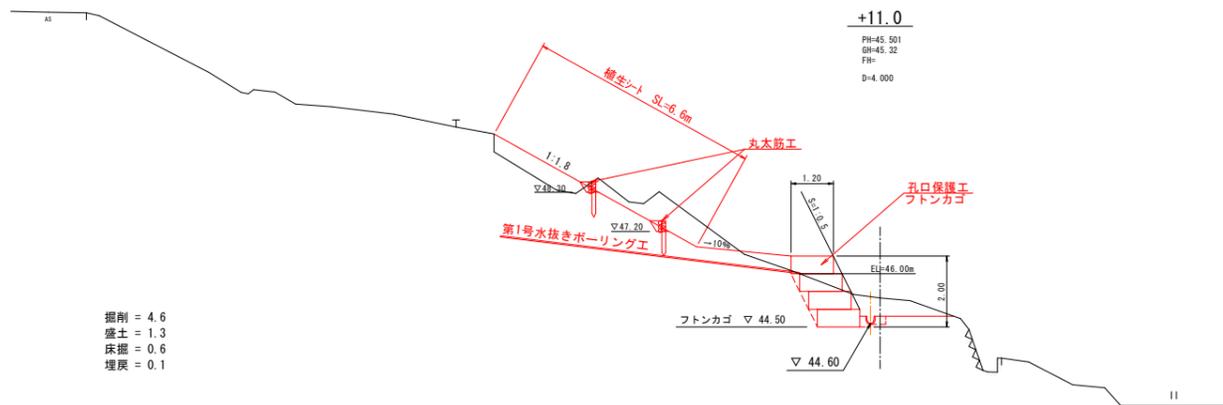
令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業
出雲地区 斜面復旧(その4)工事

図面の名称		図面番号
地区A(山寄地区-①)		5
横断面図(2)		
縮尺: 1/100(A1), 1/200(A3)		
測量	令和 年 月 日 終了	
設計		
製図	原図	
図	複写	
上部NO. 0+22.0~28.0		



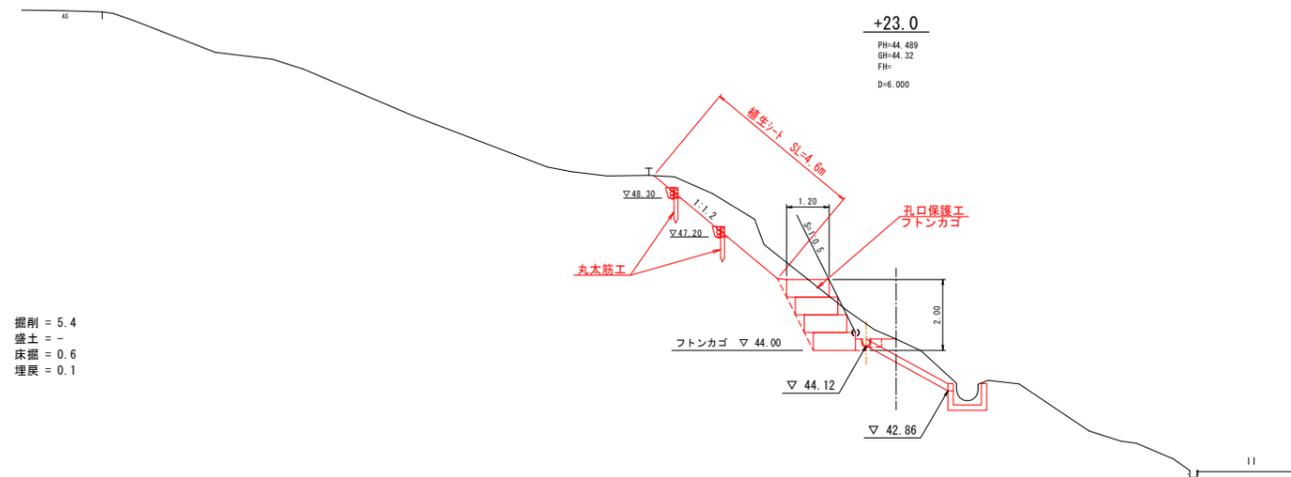
令和5年度 兵庫県緊急地すべり対策事業
 出雲地区 斜面復旧(その4)工事

図面の名称		図面番号
地区A(山寄地区-①)		6
横断面図(3)		
縮尺: 1/100(A1), 1/200(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	複写	
上部NO. 0+32.0~38.0		



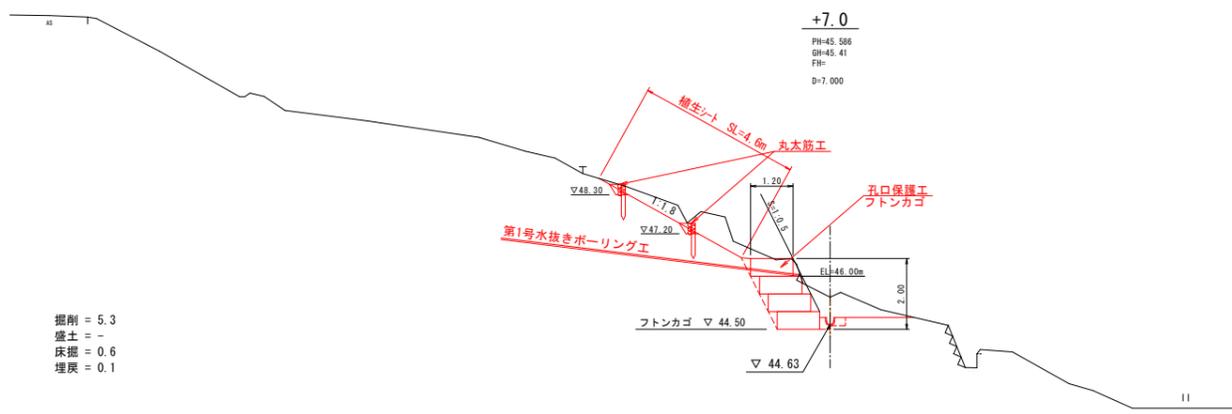
掘削 = 4.6
盛土 = 1.3
床掘 = 0.6
埋戻 = 0.1

DL=40.00



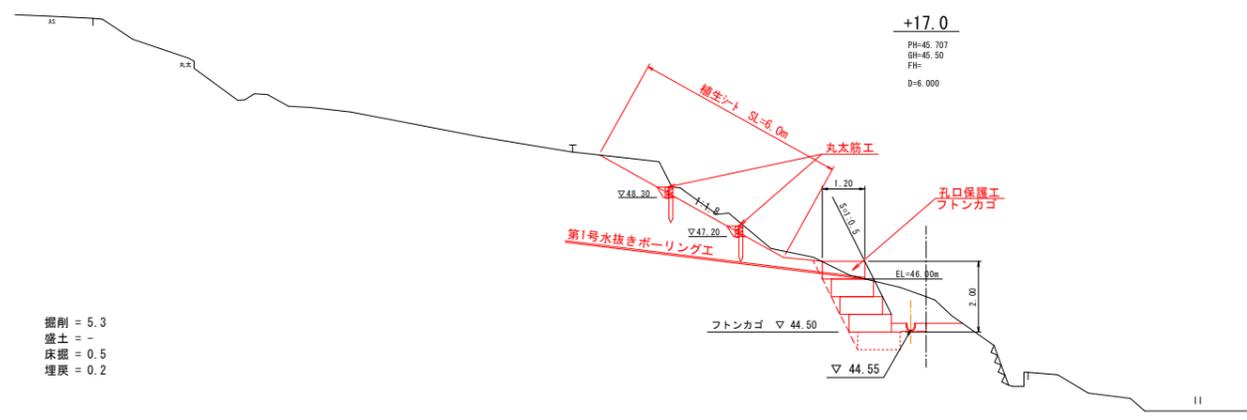
掘削 = 5.4
盛土 = -
床掘 = 0.6
埋戻 = 0.1

DL=40.00



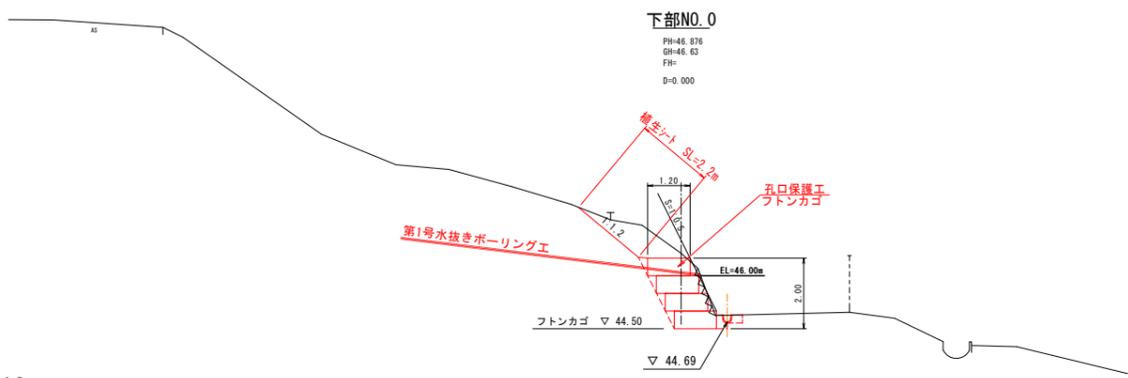
掘削 = 5.3
盛土 = -
床掘 = 0.6
埋戻 = 0.1

DL=40.00



掘削 = 5.3
盛土 = -
床掘 = 0.5
埋戻 = 0.2

DL=40.00



掘削 = 3.2
盛土 = -
床掘 = 0.7
埋戻 = 0.2
アロク積取壊し = 0.5

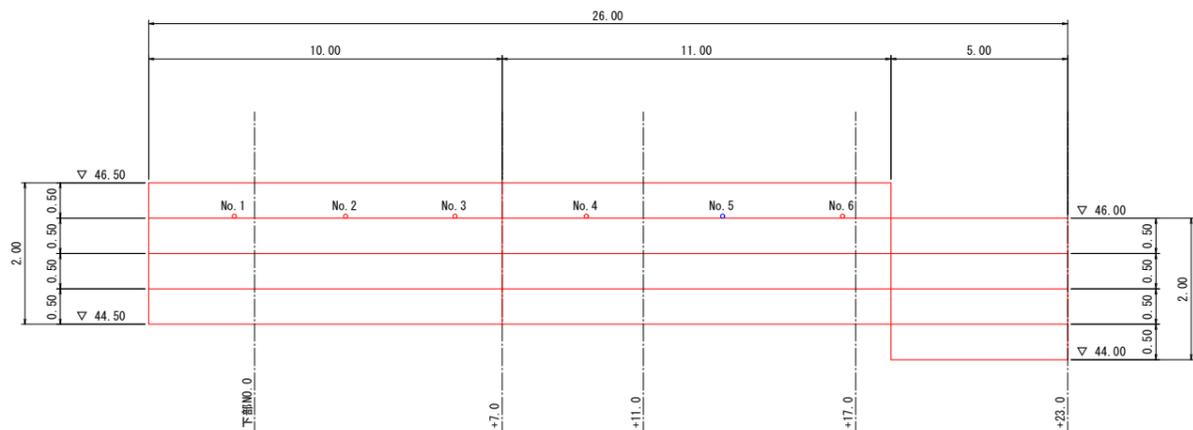
DL=40.00

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業 出雲地区 斜面復旧(その4) 工事	
図面の名称	図面番号
地区A(山寄地区-①) 横断面図(4)	7
縮尺 : 1/100(A1), 1/200(A3)	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	
下部NO.0~+23.0	

孔口保護工構造図

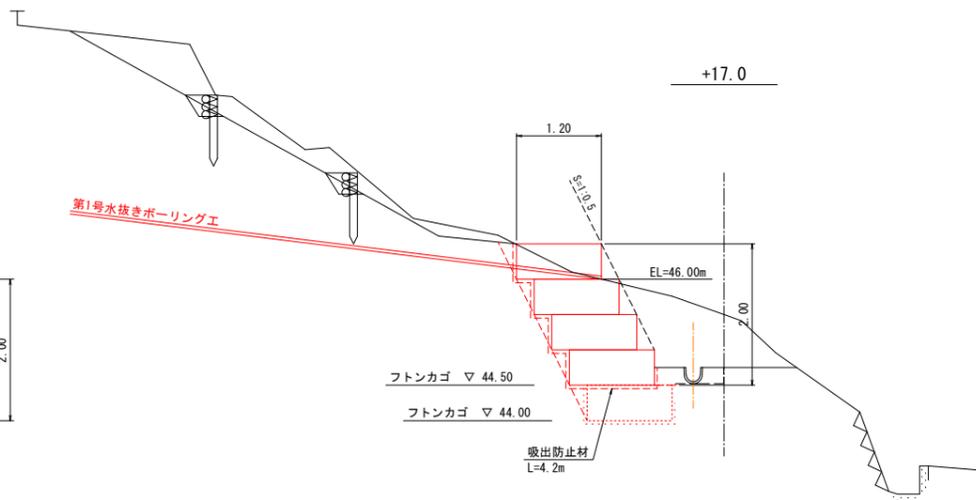
正面図

V1: 50, H: 100 (A1)
V1: 100, H: 100 (A3)



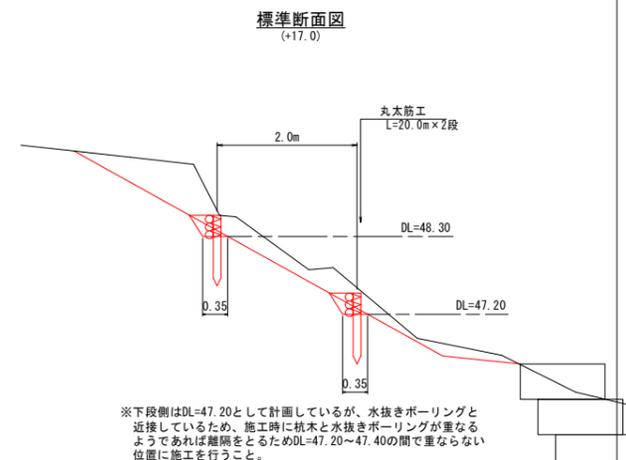
標準断面図

S: 1: 50 (A1)
S: 1: 100 (A3)



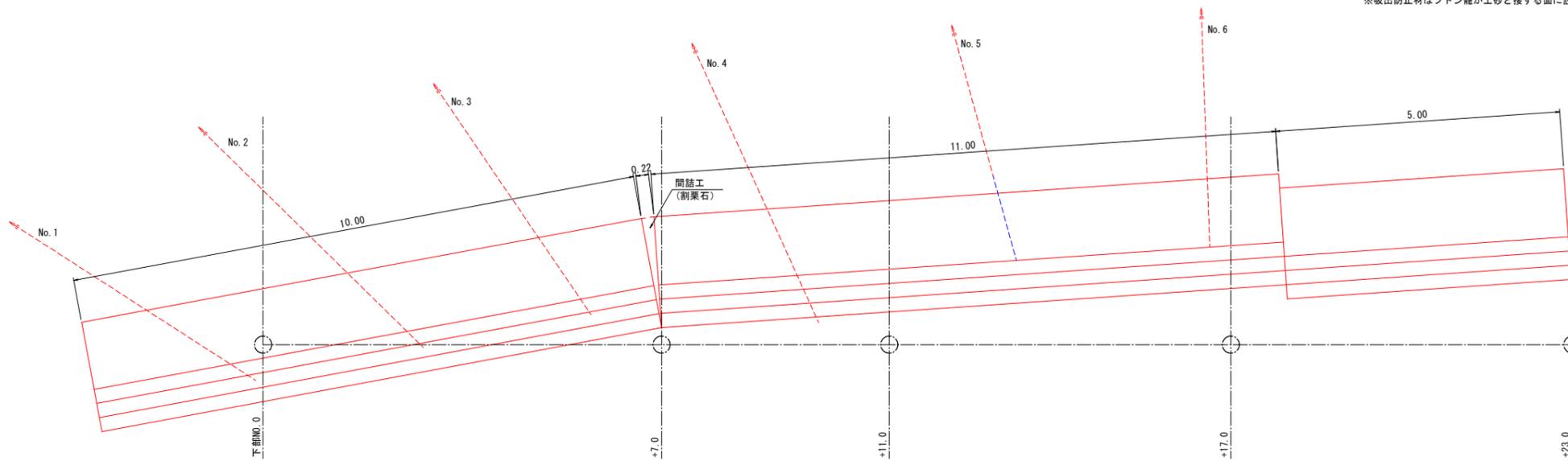
丸太筋工

S: 1: 50 (A1)
S: 1: 100 (A3)



平面図

S: 1: 50 (A1)
S: 1: 100 (A3)



数量表

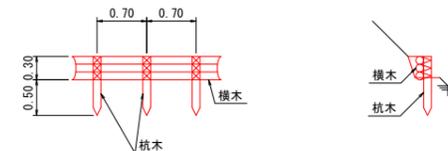
1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
フトン籠	1200-500	m	104.0
吸出防止材	鉄線8# 網目13cm	m ²	109.2

※吸出防止材はフトン籠が土砂と接する面に設置すること。

正面図

側面図



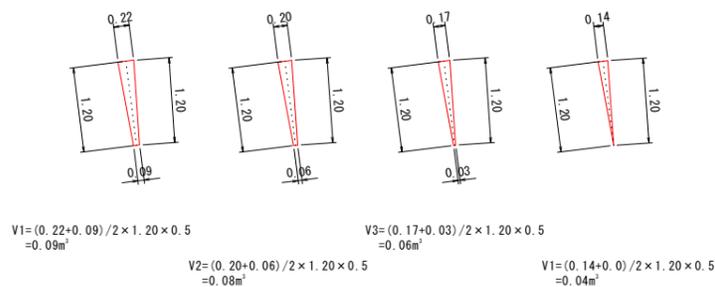
数量表

10m当たり

名称	規格	単位	数量
杭 木	径口径9cm以上 長さ80cm (60cm)	本	15.0
横 木	径口径6cm以上	本	25.0
蓋 株	1.0m縄ノ	束	1.0

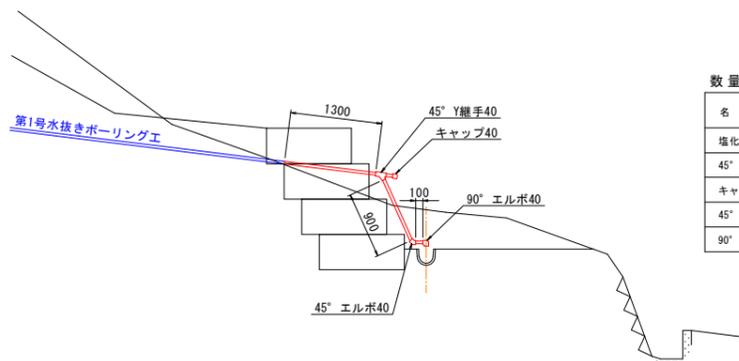
間詰工 (割栗石) 部拡大図

S: 1: 50 (A1)
S: 1: 100 (A3)



流末処理工

S: 1: 50 (A1)
S: 1: 100 (A3)



数量表

1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
塩化ビニルパイプ	VP φ40mm	m	2.3
45° Y継手	VP φ40mm用	個	1
キャップ	VP φ40mm用	個	1
45° エルボ	VP φ40mm用	個	1
90° エルボ	VP φ40mm用	個	1

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業
出雲地区 斜面復旧(その4) 工事

図面の名称	図面番号
地区A(山寄地区-①) 孔口保護工構造図	8

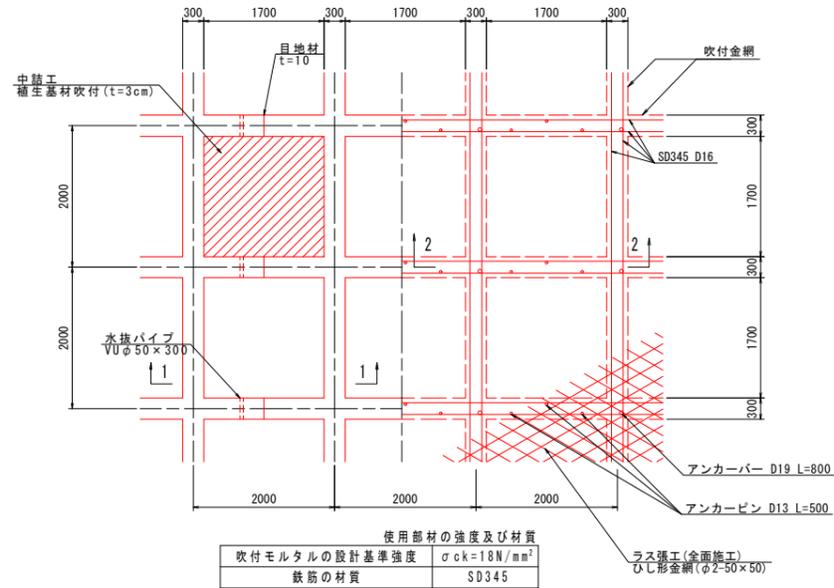
縮尺: 図示

測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製 原 図	
図 複 写	

現場吹付法枠工構造図 (□300-2000)

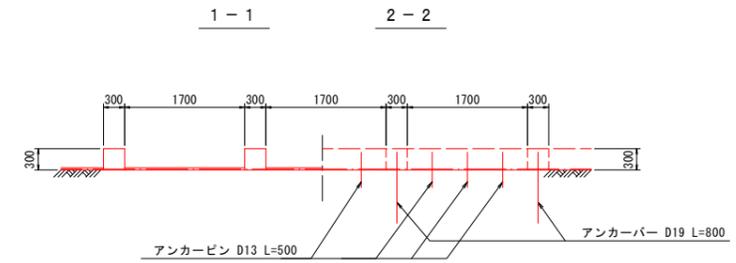
展開図

S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



断面図

S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)

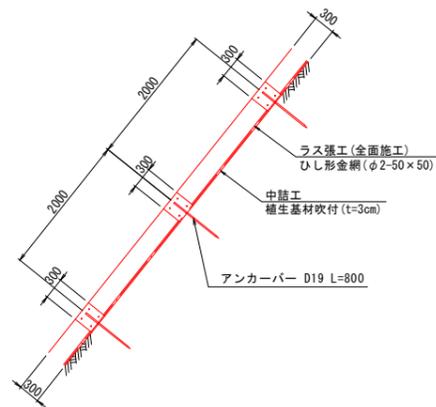


吹付法枠数量表 175.4m2当たり

名称	規格	単位	数量
吹付枠	300×300	m	232.1
ラス張	φ2×50×50	m2	175.4
水切モルタル	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	3.6
間詰モルタル	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	-
目地材	エラストイト	m2	1.8
中詰材	養生基材t=3cm	m2	99.1

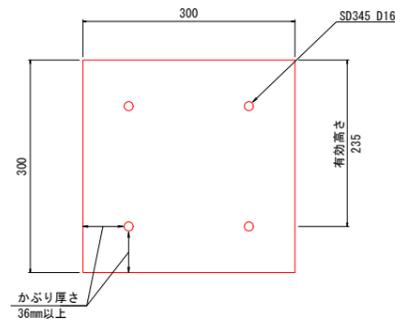
標準横断面図

S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



枠断面図

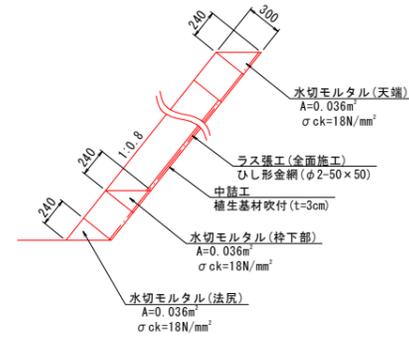
S=1:5 (A1)
S=1:10 (A3)



※鉄筋の重ね継手長
F300-2000 $l_d=560\text{mm}$

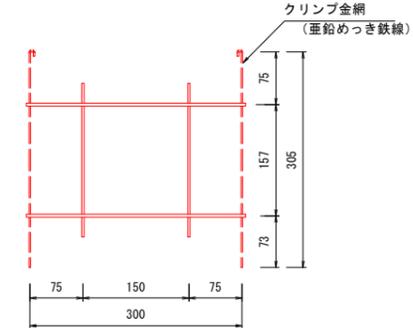
法枠端部詳細図

S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



吹付金網組立図

S=1:5 (A1)
S=1:10 (A3)



令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業
出雲地区 斜面復旧(その4)工事

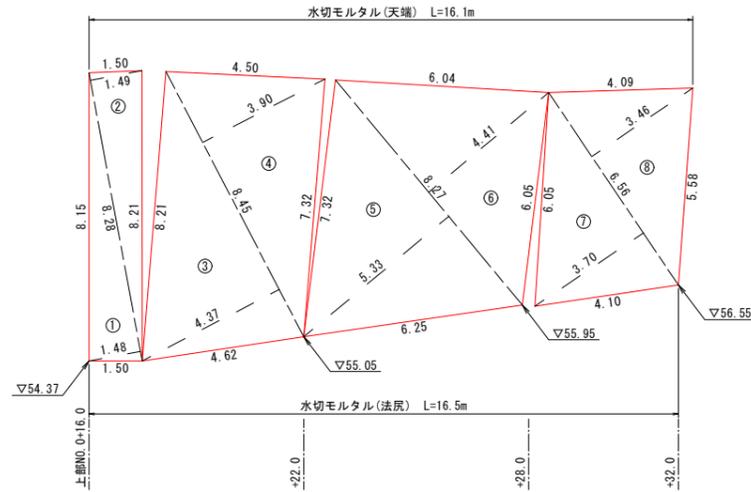
図面の名称		図面番号
地区A(山寄地区-③) 現場吹付法枠工構造図		9
縮尺: 1/50 (A1), 1/100 (A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	

現場吹付法枠工展開図 (□300-2000)

法枠工求積図

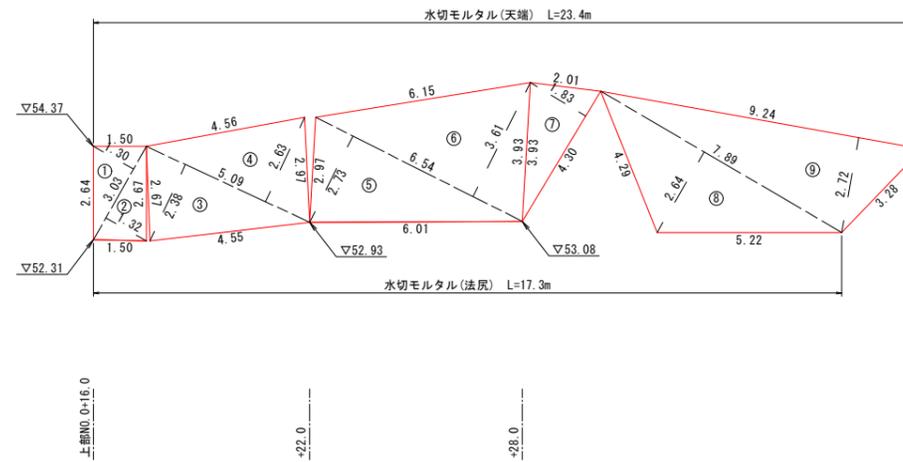
S=1:100(A1)
S=1:200(A3)

上段



記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
1	8.28	1.48	12.25
2	8.28	1.49	12.34
3	8.45	4.37	36.93
4	8.45	3.90	32.96
5	8.27	5.33	44.08
6	8.27	4.41	36.47
7	6.56	3.70	24.27
8	6.56	3.46	22.70
倍面積 m ²			222.00
面積 m ²			111.00

下段

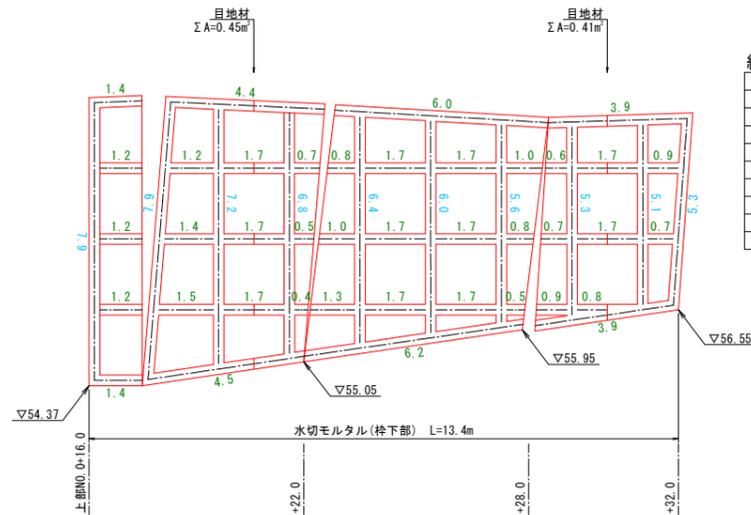


記号	底辺	高さ	倍面積 m ²
1	3.03	1.30	3.94
2	3.03	1.32	4.00
3	5.09	2.38	12.11
4	5.09	2.63	13.39
5	6.54	2.73	17.85
6	6.54	3.61	23.61
7	4.30	1.83	7.87
8	7.89	2.64	20.83
9	9.24	2.72	25.13
倍面積 m ²			128.73
面積 m ²			64.37

法枠工展開図

S=1:100(A1)
S=1:200(A3)

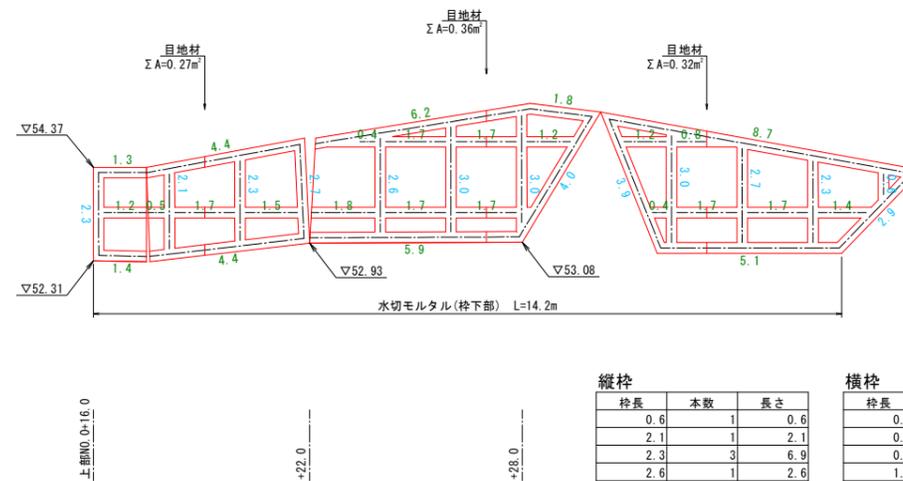
上段



枠長	本数	長さ
5.1	1	5.1
5.3	2	10.6
5.6	1	5.6
6.0	1	6.0
6.4	1	6.4
6.8	1	6.8
7.2	1	7.2
7.9	2	15.8
計	10	63.5

枠長	本数	長さ
0.4	1	0.4
0.5	2	1.0
0.6	1	0.6
0.7	3	2.1
0.8	3	2.4
0.9	2	1.8
1.0	2	2.0
1.2	4	4.8
1.3	1	1.3
1.4	3	4.2
1.5	1	1.5
1.7	11	18.7
3.9	2	7.8
4.4	1	4.4
4.5	1	4.5
6.0	1	6.0
6.2	1	6.2
計	40	69.7

下段

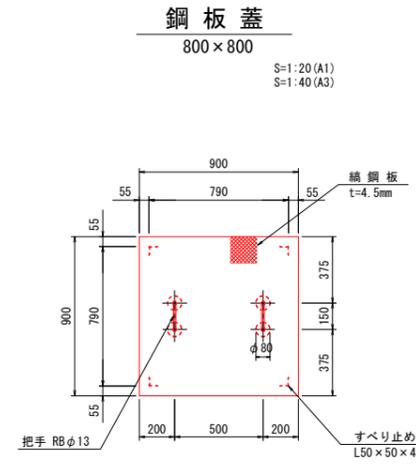
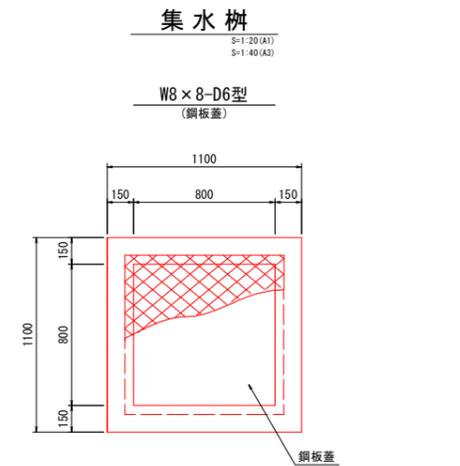
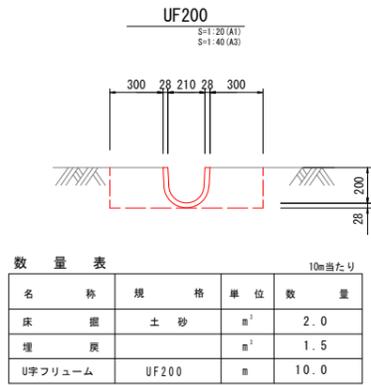


枠長	本数	長さ
0.6	1	0.6
2.1	1	2.1
2.3	3	6.9
2.6	1	2.6
2.7	2	5.4
2.9	1	2.9
3.0	3	9.0
3.9	1	3.9
4.0	1	4.0
計	14	37.4

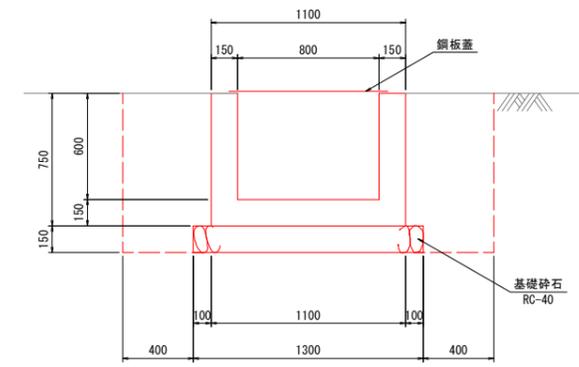
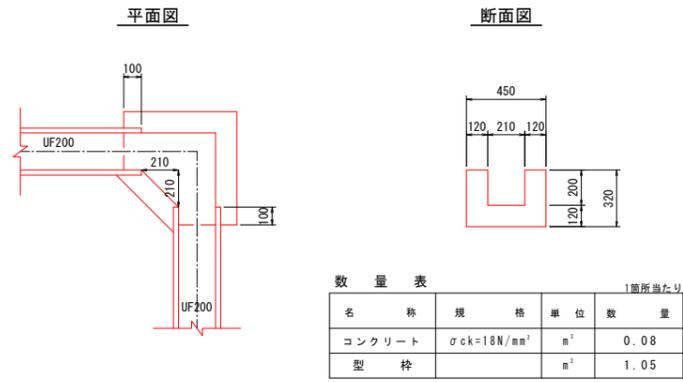
枠長	本数	長さ
0.4	2	0.8
0.5	1	0.5
0.8	1	0.8
1.2	3	3.6
1.3	1	1.3
1.4	2	2.8
1.5	1	1.5
1.7	7	11.9
1.8	2	3.6
4.4	2	8.8
5.1	1	5.1
5.9	1	5.9
6.2	1	6.2
8.7	1	8.7
計	26	61.5

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業 出雲地区 斜面復旧(その4)工事		
図面の名称	現場吹付法枠工展開図	図面番号
地区A(山寄地区-①)	(参考図)	10
縮尺: 1/100(A1), 1/200(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製原図		
図複写		

水路工構造図

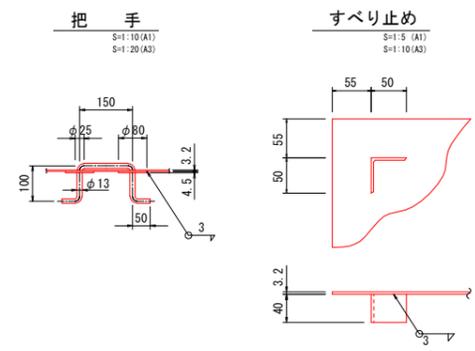


固定コンクリート
水路屈曲部 (NO. 0+23.0)



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床 掘	土 砂	m ²	4.0
埋 戻		m ²	2.8
基面整正		m ²	1.7
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.460
型 枠		m ²	4.85
基礎砕石	RC-40, t=150	m ³	1.69
鋼板蓋	800×800用	枚	1



数量表

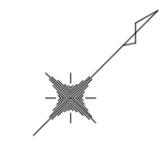
名称	寸法	規格	単位質量	数量	質量(kg)
鋼板蓋	ch 900×4.5×900	SS400	36.99kg/m ²	1	30.0
すべり止め	L50×50×4×40	"	3.06kg/m	4	0.5
把手	RBφ13×450	"	1.04kg/m	2	0.9
補強板	Rφ80×4.5	"	35.33kg/m ²	4	0.7
合計					32.1

注) 鋼蓋(把手、すべり止め等含む)のさび止め塗装は、シアンドクロム酸さび止めペイント (JIS K 5625) 2面塗りとする。

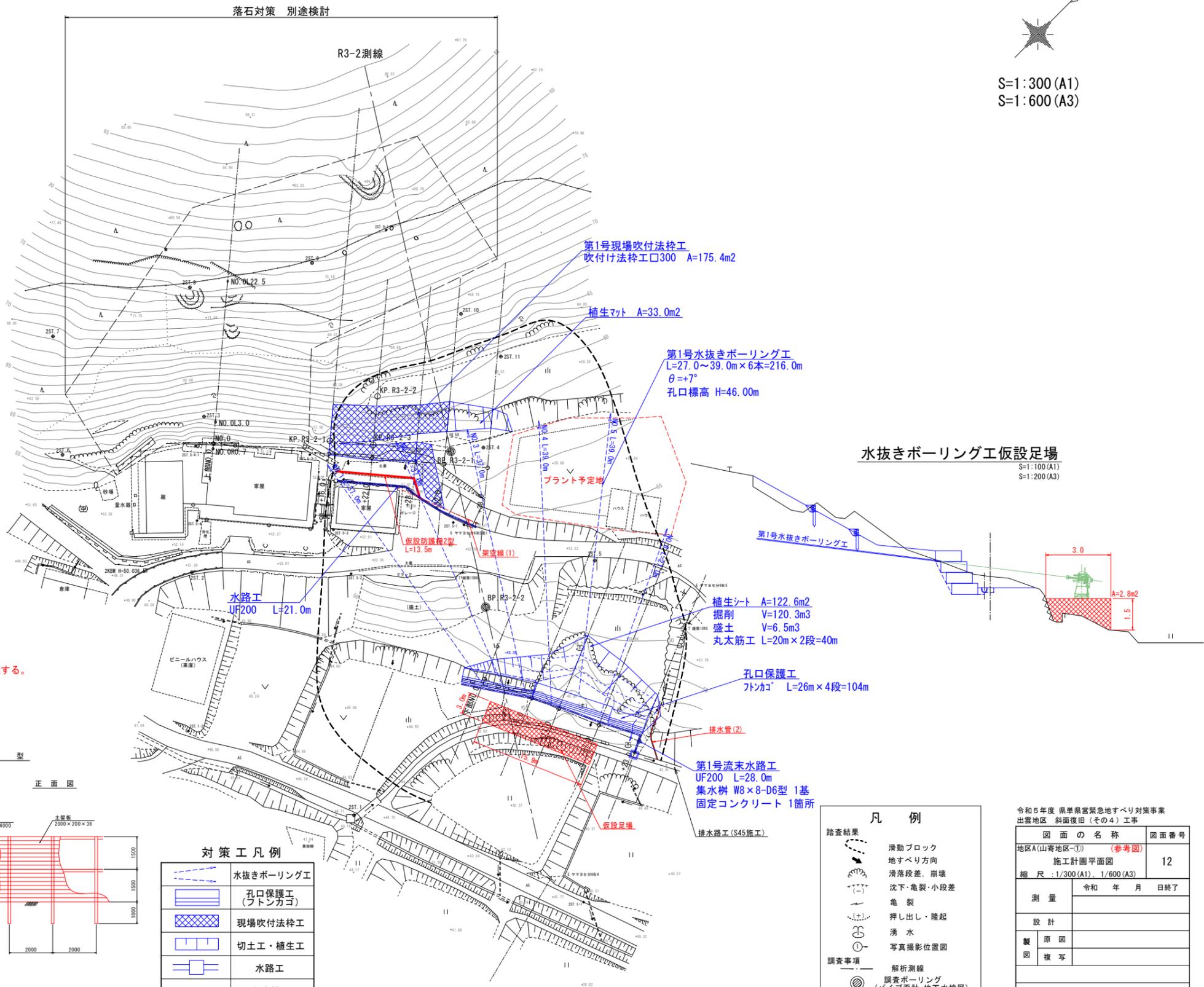
令和5年度 兵庫県緊急地すべり対策事業
出雲地区 斜面復旧(その4)工事

図面の名称	図面番号
地区A(山寄地区-①) 水路工構造図	11
縮尺: 図示	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製 原 図	
図 複 写	

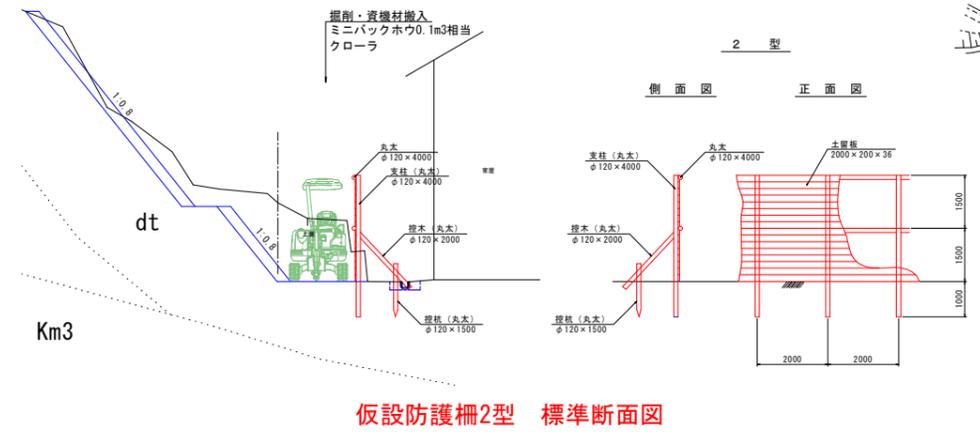
施工計画平面図（参考） R3-2ブロック



S=1:300 (A1)
S=1:600 (A3)



- 【施工上の留意事項】**
- (1) 架空線に注意
 - ・ 家屋周辺の道路沿いの架空線に注意
 - (2) 埋設管に注意
 - ・ 水抜きボーリング孔口終点付近にある浄化槽からの排水管に注意する。
 - ・ この配水管 (VUI00) はむき出しのため、付替え等については地権者と協議する。



仮設防護柵2型 標準断面図

対策工凡例

	水抜きボーリング工
	孔口保護工 (トンカゴ)
	現場吹付法砕工
	切土工・植生工
	水路工
	丸太筋工

凡例

	滑動ブロック
	地すべり方向
	滑落段差・崩壊
	沈下・亀裂・小段差
	亀裂
	押し出し・隆起
	湧水
	写真撮影位置図
	調査事項
	解析測線
	調査ボーリング (パイプ量計・地下水検層)

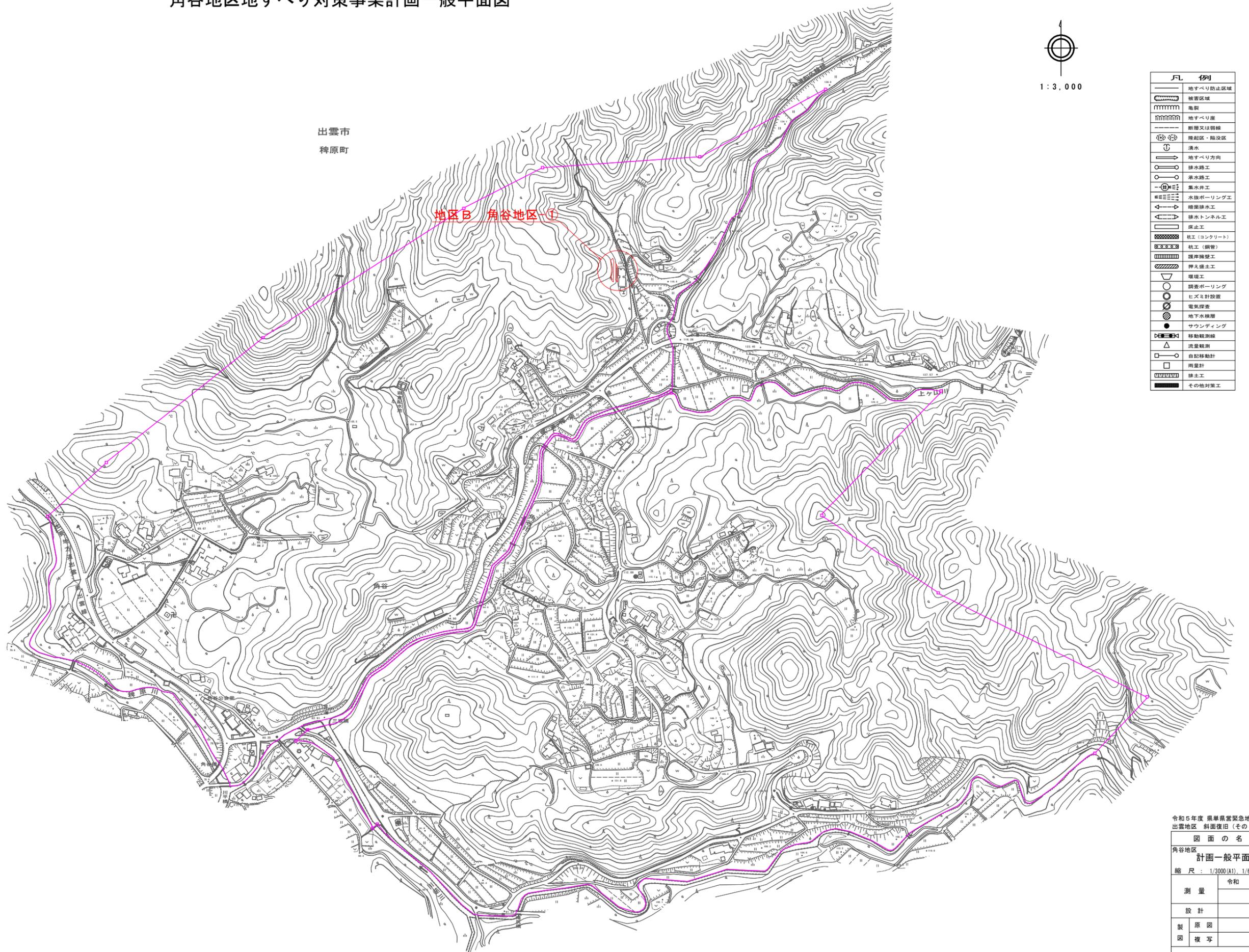
令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事

図面の名称	図面番号
地区A(山寄地区-①) (参考図)	
施工計画平面図	12
縮尺: 1/300 (A1), 1/600 (A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製図	
原図	
複写	

角谷地区地すべり対策事業計画一般平面図

1:3,000

出雲市
神原町



凡例	例
—	地すべり防止区域
	被害区域
~~~~~	亀裂
	地すべり崖
—	新層又は露線
④ ⑤	隆起区・陥没区
↑	湧水
→	地すべり方向
○	排水路工
○	承水路工
○	集水井工
○	水抜ボーリング工
←	噴染排水工
←	排水トンネル工
—	床土工
	杭工 (コンクリート)
	杭工 (鋼管)
	護岸擁壁工
	押入盛土工
▽	堰堤工
○	調査ボーリング
○	ヒズミ計設置
○	電気探査
○	地下水検層
●	サウンディング
—	移動観測線
△	流量観測
□	自記移動計
□	雨量計
	排土工
	その他対策工

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業	
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事	
図面の名称	図面番号
角谷地区 計画一般平面図	13
縮尺: 1/3000(A1), 1/6000(A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	



# 地質断面図

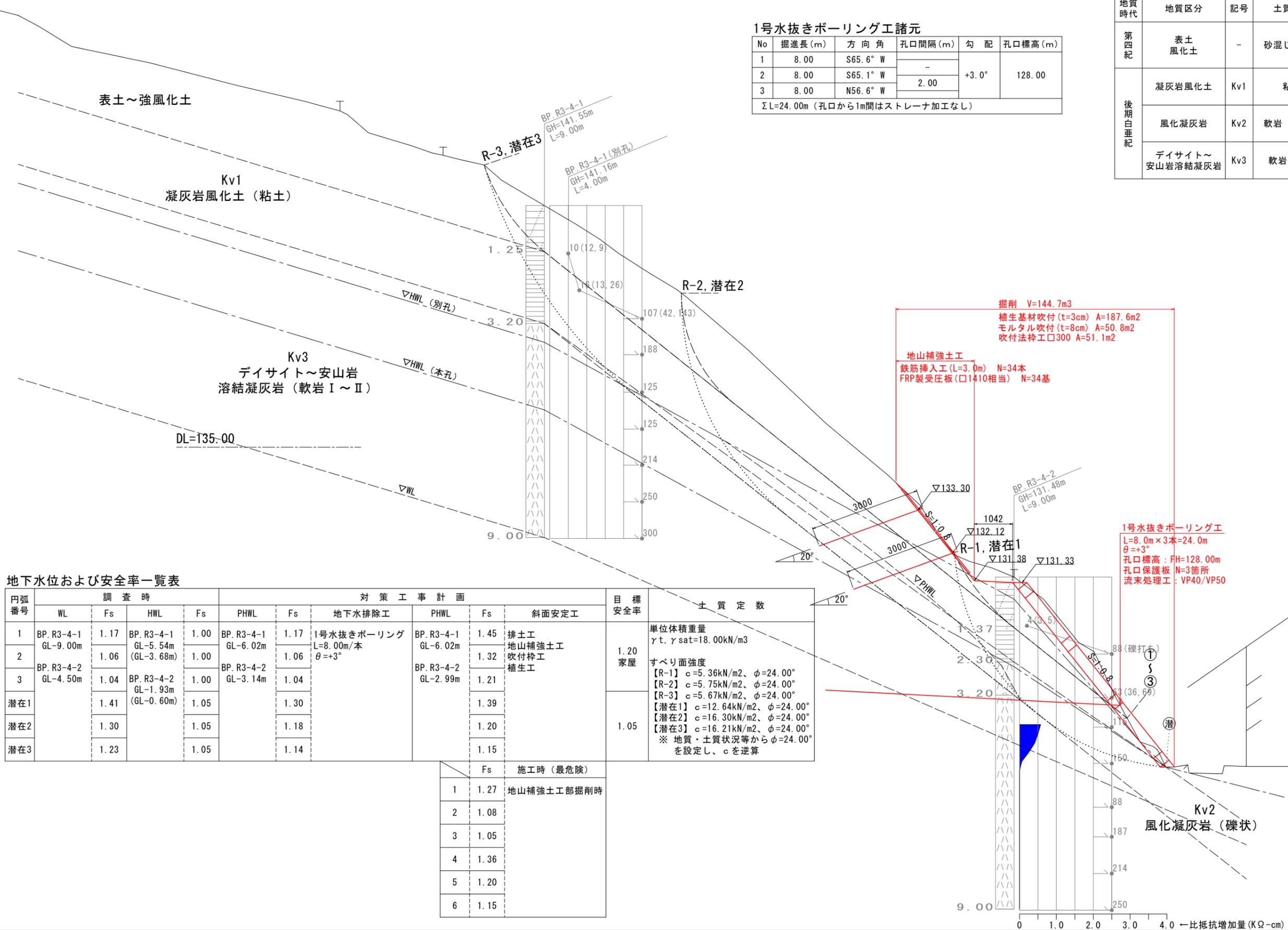
R3-4測線

## 1号水抜きボーリング工諸元

No	掘進長(m)	方向角	孔口間隔(m)	勾配	孔口標高(m)
1	8.00	S65.6° W	-	+3.0°	128.00
2	8.00	S65.1° W			
3	8.00	N56.6° W			
ΣL=24.00m (孔口から1m間はストレーナ加工なし)					

凡例

地質時代	地質区分	記号	土質区分	N値
第四紀	表土 風化土	-	砂混じり粘土	(3)~12
	凝灰岩風化土	Kv1	粘土	(5)~(42)
後期白亜紀	風化凝灰岩	Kv2	軟岩(礫状)	(36)
	デイサイト~ 安山岩溶結凝灰岩	Kv3	軟岩I~II	(69)~300



地下水位および安全率一覧表

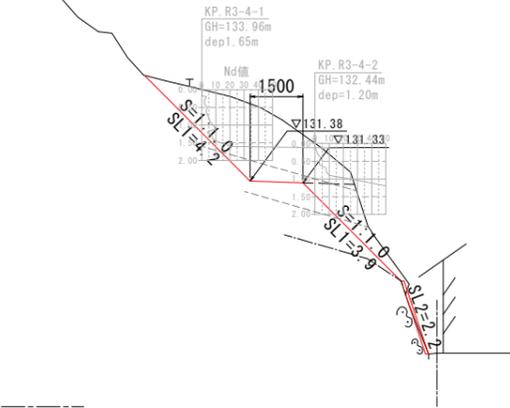
円弧番号	調査時				対策工事計画				目標安全率	土質定数		
	WL	Fs	HWL	Fs	PHWL	Fs	地下水排除工	PHWL			Fs	斜面安定工
1	BP. R3-4-1 GL-9.00m	1.17	BP. R3-4-1 GL-5.54m (GL-3.68m)	1.00	BP. R3-4-1 GL-6.02m	1.17	1号水抜きボーリング L=8.00m/本 θ=+3°	BP. R3-4-1 GL-6.02m	1.45	掘削 地山補強土工 吹付砕工 植生工	1.20 家屋	単位体積重量 γt, γsat=18.00kN/m3  すべり面強度 【R-1】 c=5.36kN/m2, φ=24.00° 【R-2】 c=5.75kN/m2, φ=24.00° 【R-3】 c=5.67kN/m2, φ=24.00° 【潜在1】 c=12.64kN/m2, φ=24.00° 【潜在2】 c=16.30kN/m2, φ=24.00° 【潜在3】 c=16.21kN/m2, φ=24.00° ※ 地質・土質状況等からφ=24.00° を設定し、cを逆算
2	BP. R3-4-2 GL-4.50m	1.06	BP. R3-4-2 GL-1.93m (GL-0.60m)	1.00	BP. R3-4-2 GL-3.14m	1.06		BP. R3-4-2 GL-2.99m	1.32			
3		1.04		1.00		1.04			1.21		1.05	
潜在1		1.41		1.05		1.30			1.39			
潜在2		1.30		1.05		1.18			1.20			
潜在3		1.23		1.05		1.14			1.15			

	Fs	施工時(最危険)
1	1.27	地山補強土工部掘削時
2	1.08	
3	1.05	
4	1.36	
5	1.20	
6	1.15	

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業 出雲地区 斜面復旧(その4)工事	
図面の名称	図面番号
地区B(角谷地区-①) 地質断面図	15
縮尺 1/50(A1), 1/100(A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

NO. 0+5.0

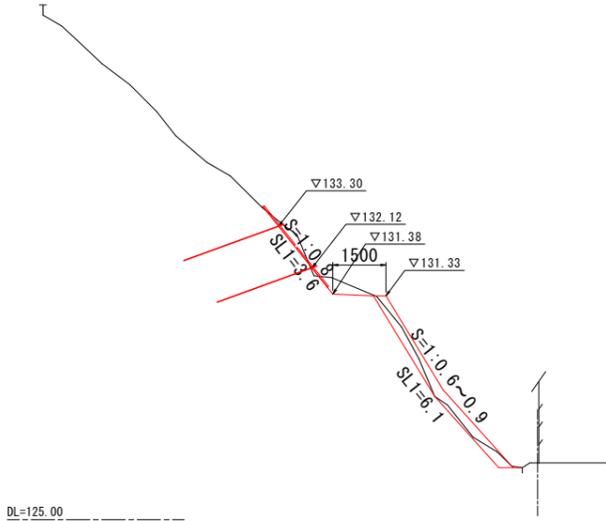
PGH=126.509  
FH=  
D = 5.00



切崩 (C1)=1.9  
掘削 (C2)=7.3  
整形 (SL1)=8.1  
(SL2)=2.2

NO. 0+18.20

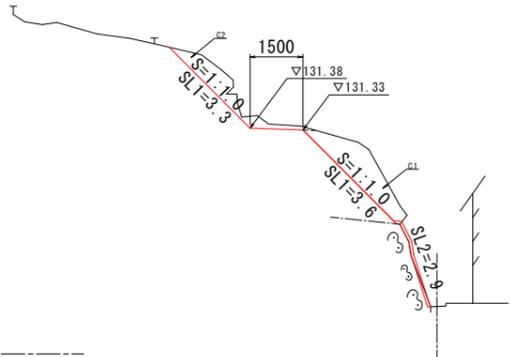
PGH=126.608  
FH=  
D = 7.90



切崩 (C1)=0.8  
掘削 (C2)=0.6  
整形 (SL1)=9.7  
(SL2)=-

NO. 0

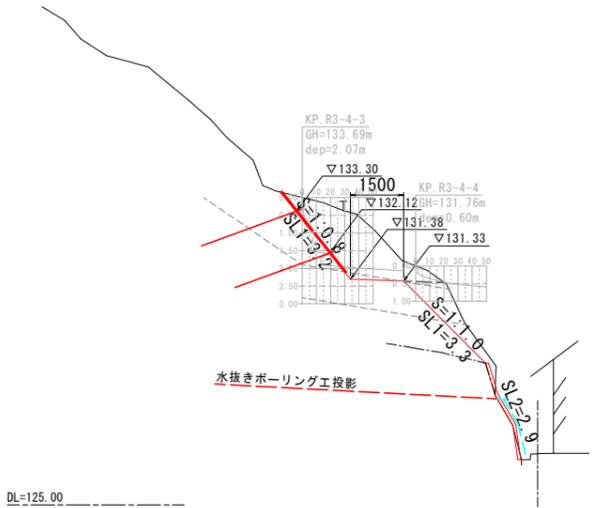
PGH=126.343  
FH=  
D = 0.00



切崩 (C1)=2.3  
掘削 (C2)=1.5  
整形 (SL1)=6.9  
(SL2)=2.9

NO. 0+10.30

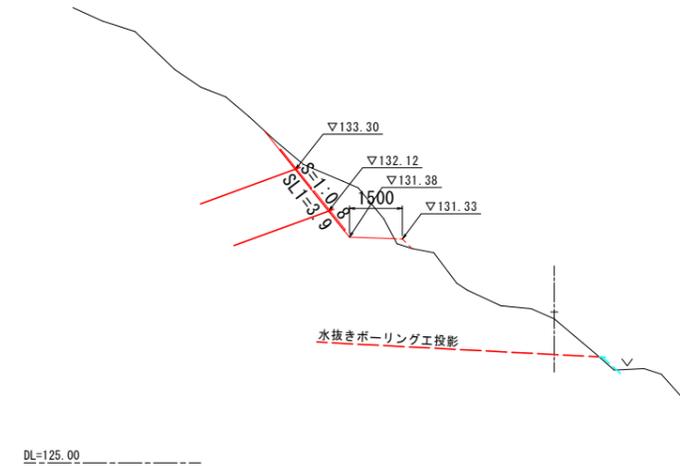
PGH=126.454  
FH=  
D = 5.30



切崩 (C1)=1.6  
掘削 (C2)=4.2  
整形 (SL1)=6.5  
(SL2)=2.9

NO. 0+27.50

PGH=129.270  
GH=129.07  
FH=  
D = 9.30



切崩 (C1)=-  
掘削 (C2)=2.7  
整形 (SL1)=3.9  
(SL2)=-

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事

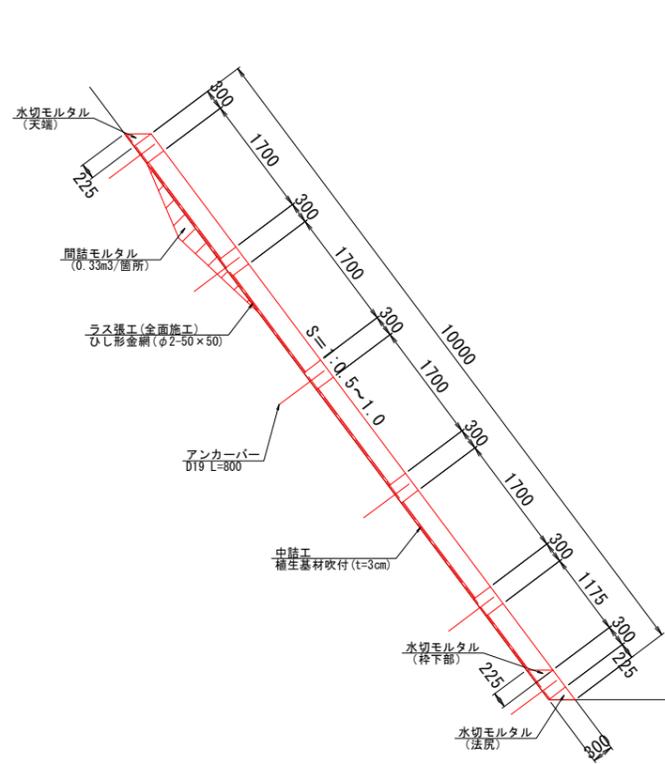
図面の名称	図面番号
地区B(角谷地区-①) 横断面図	16
縮尺 1/100 (A1), 1/200 (A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

※家屋裏のモルタル吹付は狭小で施工上の品質が確保しがたい部分は、補助型枠を用いて行うこと。

# 現場吹付法枠工構造図 (□300-2000)

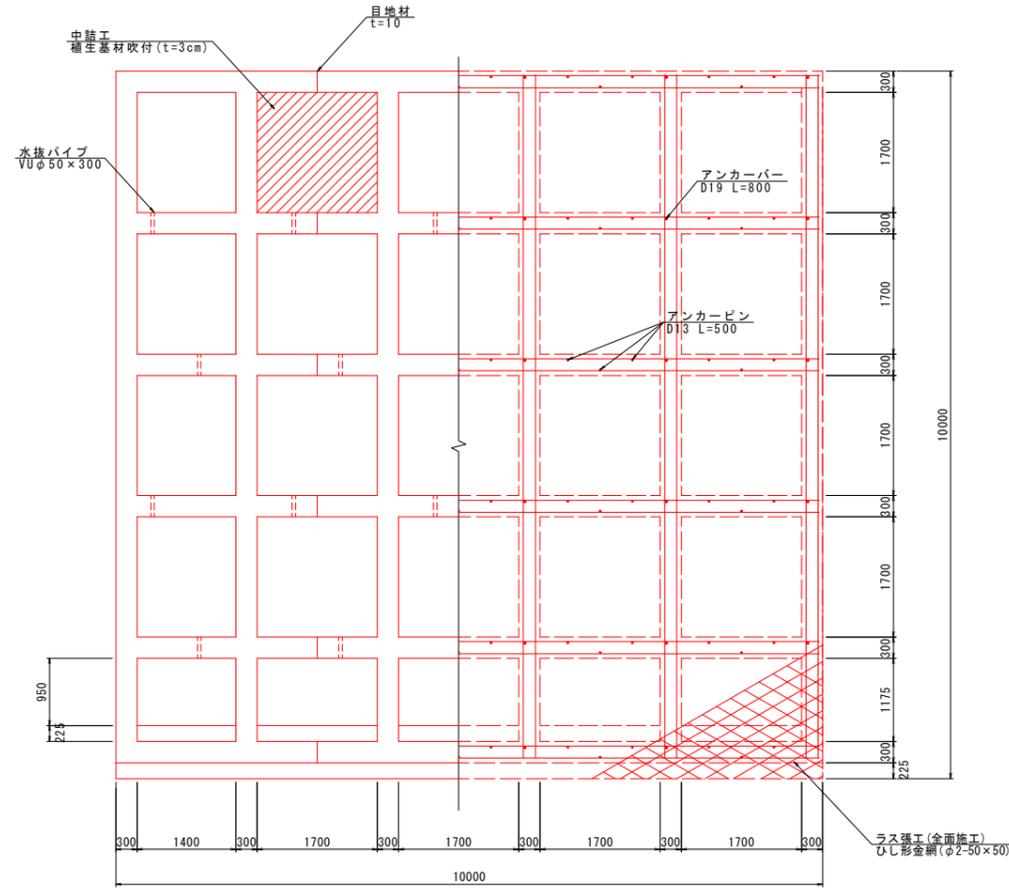
標準断面図

S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)



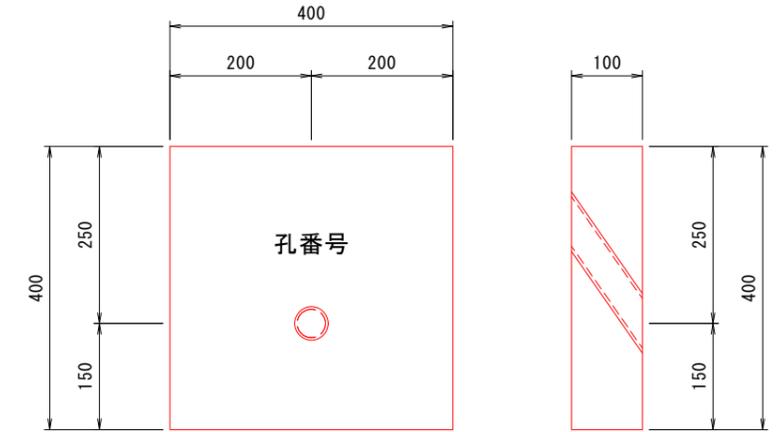
標準展開図

S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)



孔口保護板詳細図

S=1:5 (A1)  
S=1:10 (A3)

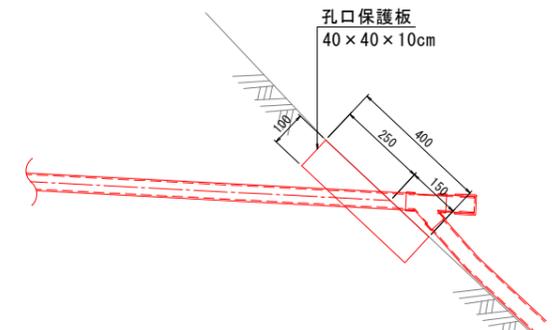


孔口保護板数量表 (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.03
型枠	小型	m ²	0.20
掘削	土砂	m ³	0.03

孔口保護工標準図

S=1:10 (A1)  
S=1:20 (A3)

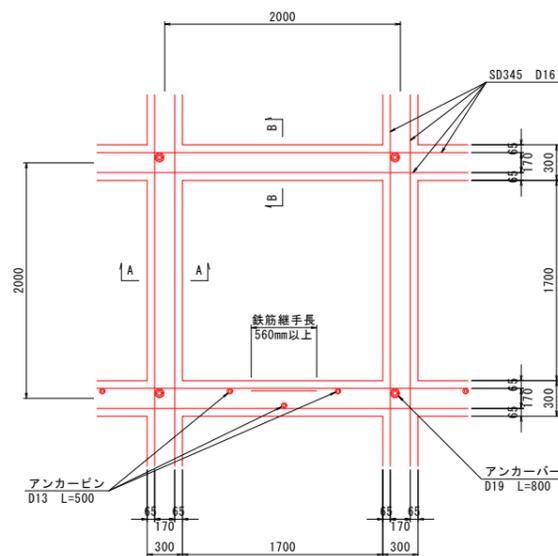


孔口部数量表 (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
キャップ	VP40mm用	個	1
45° チーズ	VP40mm用	個	1

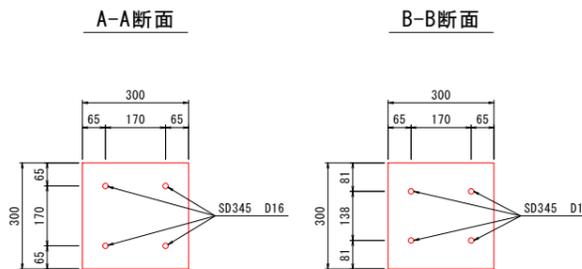
配筋図

S=1/30 (A1)  
S=1/60 (A3)



枠断面図

S=1/10 (A1)  
S=1/20 (A3)



吹付法枠数量表 100m²当たり

名称	規格	単位	数量
吹付枠	300×300	m	107.85
ラス張	φ2×50×50	m ²	100.0
水切モルタル	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.95
間詰モルタル	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.65
目地材	エラストイト	m ²	0.64
中詰材	養生基材t=3cm	m ²	63.55

使用部材の強度及び材質

吹付モルタルの設計基準強度	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋の材質	SD345

<注意事項>

- 鉄筋の重ね継手長は、560mm以上とする。
- 鉄筋の継手位置は、交差点を避け、また千鳥配列等として1断面に集中しないようにする。
- 中詰工の工種や吹付厚等については、切り取り後の法面の土壌硬度やpH値等を計測し、再度検討する。
- 目地材は、5~10m間隔で設ける。

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧(その4)工事

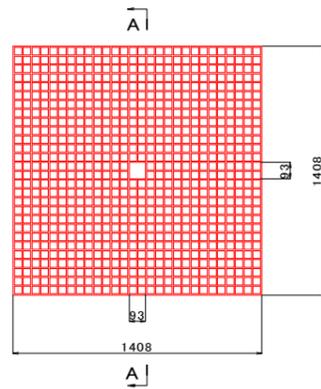
図面の名称	図面番号
地区B(角谷地区-①) 現場吹付法枠工構造図	17

縮尺: 図示	令和 年 月 日終了
測量	
設計	
製原図	
図複写	

# FRP製受圧板標準図

S=1:20 (A1)  
S=1:40 (A3)

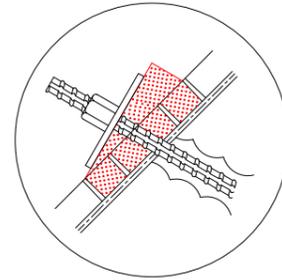
平面図



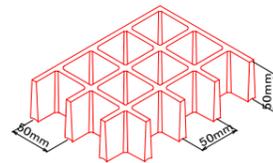
側面図



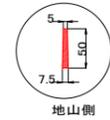
角度調整部(拡大)



立面図



バー断面形状



受圧板 規格

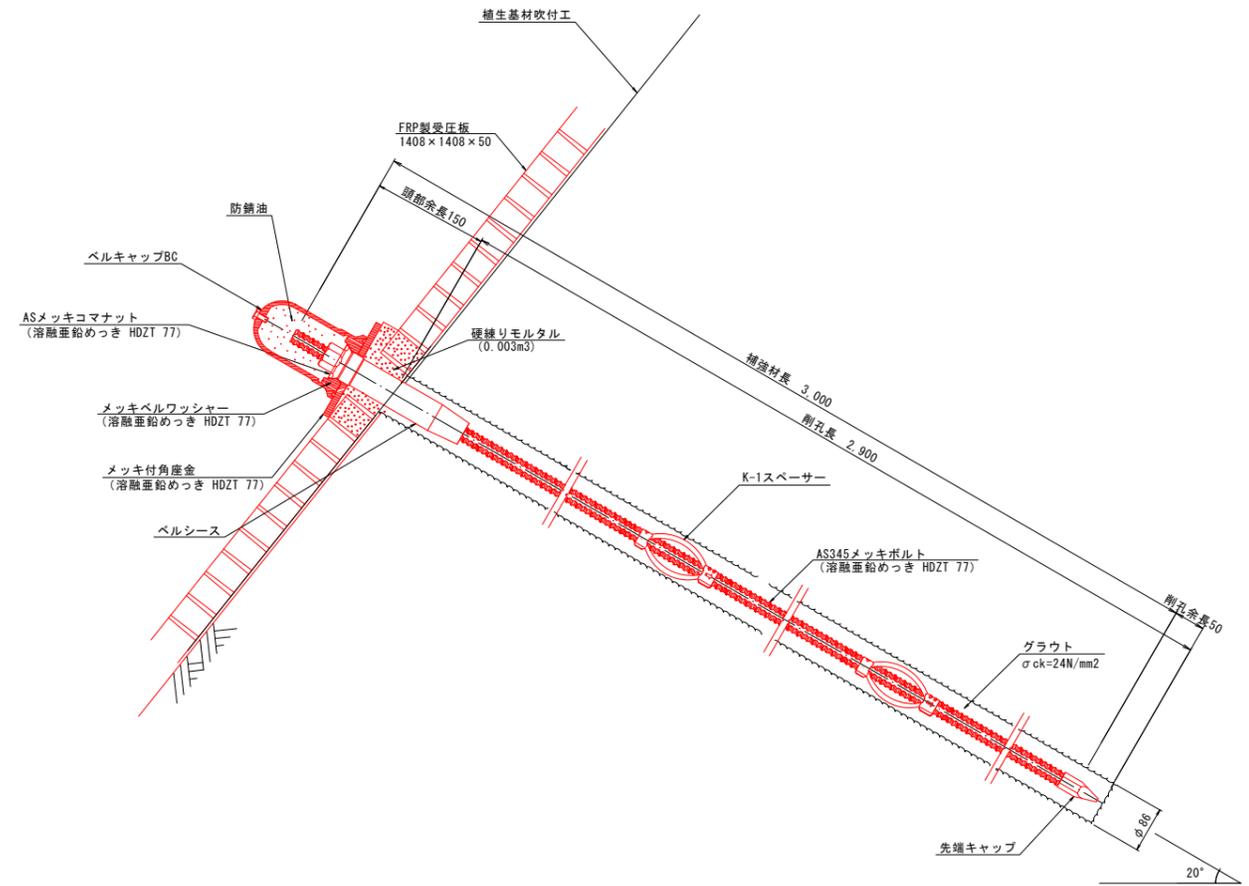
材質	FRP(連続ガラス繊維使用)
寸法	1408×1408×50 mm
重量	39.5 kg
標準色	ダークブラウン

特記

- ・バイオマスマーク適合製品とする。
- ・「JIS K 6911 A法」耐燃性試験にて「不燃性」評価製品とする。

# 鉄筋挿入工 標準断面図

S=1:5 (A1)  
S=1:10 (A3)



## 数量表

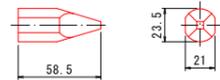
(1箇所当り)

種別	仕様	単位	数量	備考
AS345メッキボルト	D19NT	m	3.0	溶融亜鉛めっき HDZT 77
先端キャップ	D19	個	1	
ASメッキコマナット	D19N	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
K-1スペーサー	D19-65	個	2	電気めっき 最大ピッチ2.5mで最低2箇所
メッキ付角座金	150×150×9 (φ45)	枚	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
メッキベルワッシャー	φ74.5×25	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
ベルキャップBC	φ100×150	個	1	ベルコート360g入り
ベルシース	φ45×200	個	1	

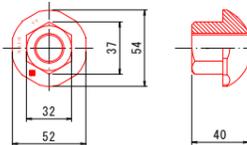
## 補強材部品図

S=1:2.5 (A1)  
S=1:5 (A3)

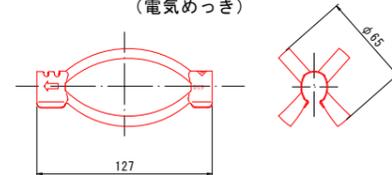
先端キャップ D19



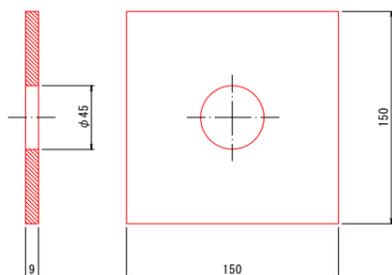
ASメッキコマナット D19N  
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



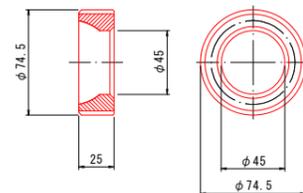
K-1スペーサー-D19-65  
(電気めっき)



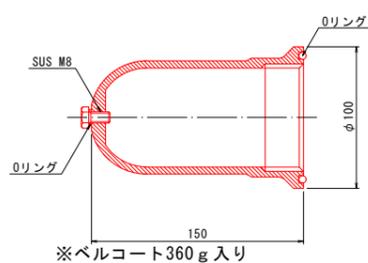
メッキ付角座金  
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



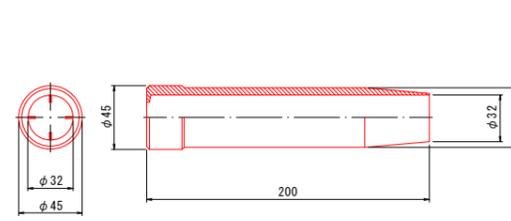
メッキベルワッシャー  
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



ベルキャップBC



ベルシース



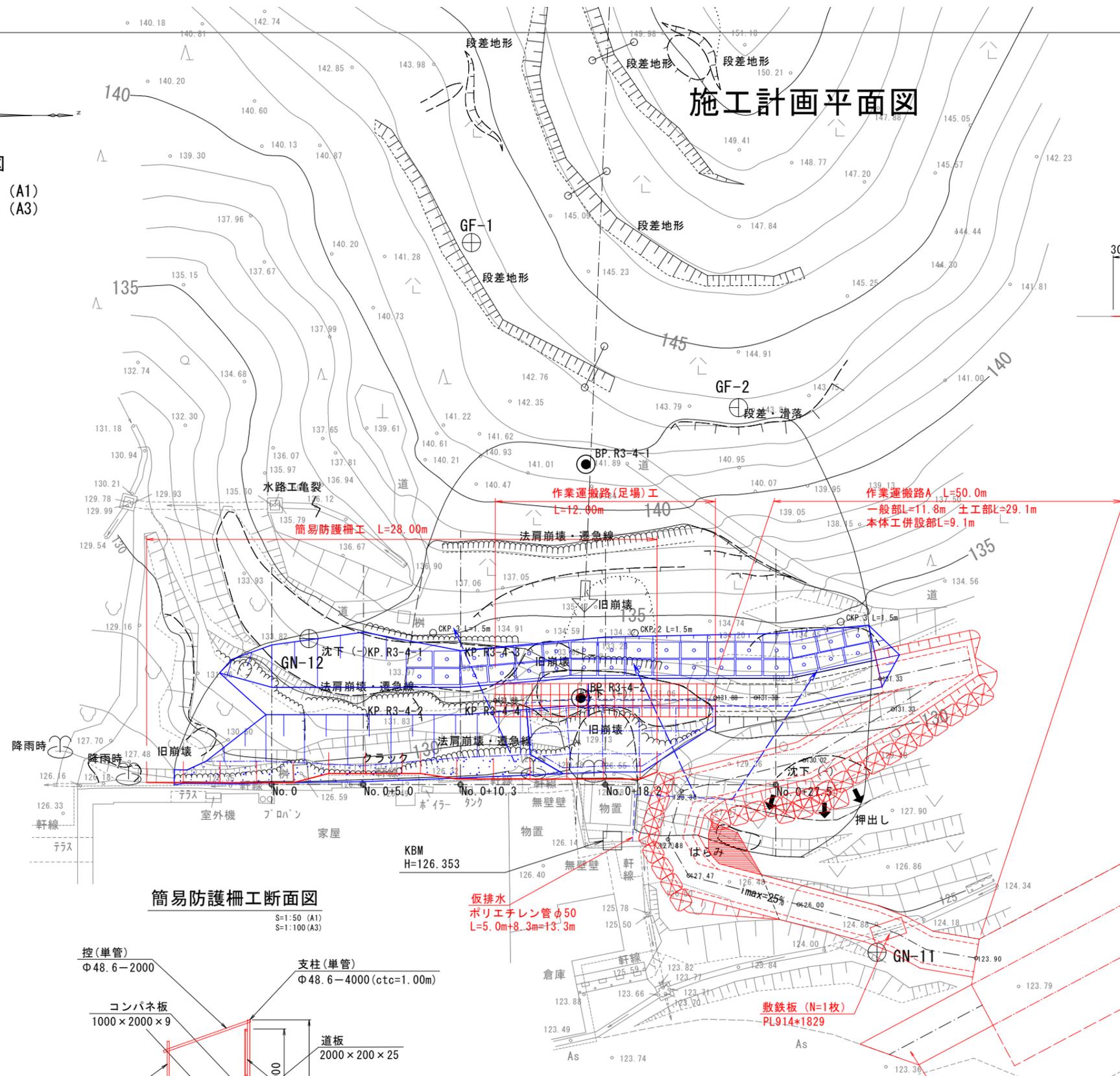
令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧(その4)工事

図面の名称	図面番号
地区B(角谷地区-①) 鉄筋挿入工構造図	18
縮尺 図示	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写

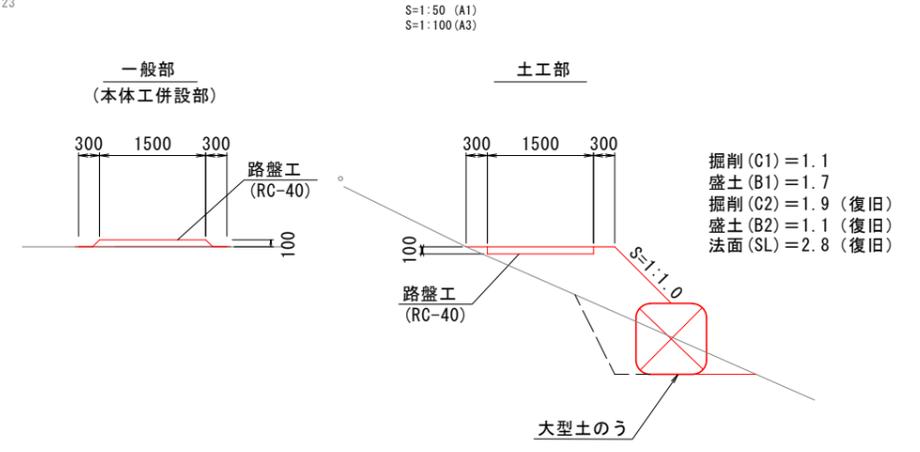


平面図  
S=1:125 (A1)  
S=1:250 (A3)

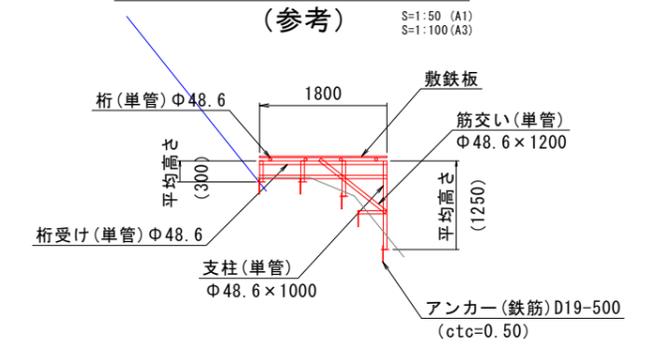
# 施工計画平面図



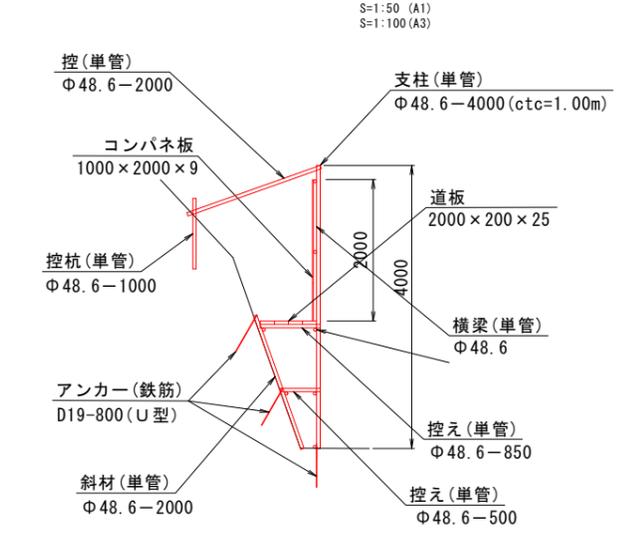
## 作業運搬路A断面図



## 作業運搬路(足場)部断面図 (参考)

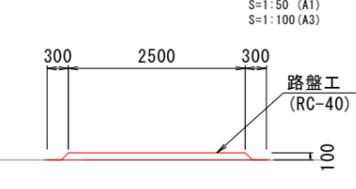


## 簡易防護柵工断面図



※現場状況により、支柱を斜面内に設ける。

## 作業運搬路B断面図

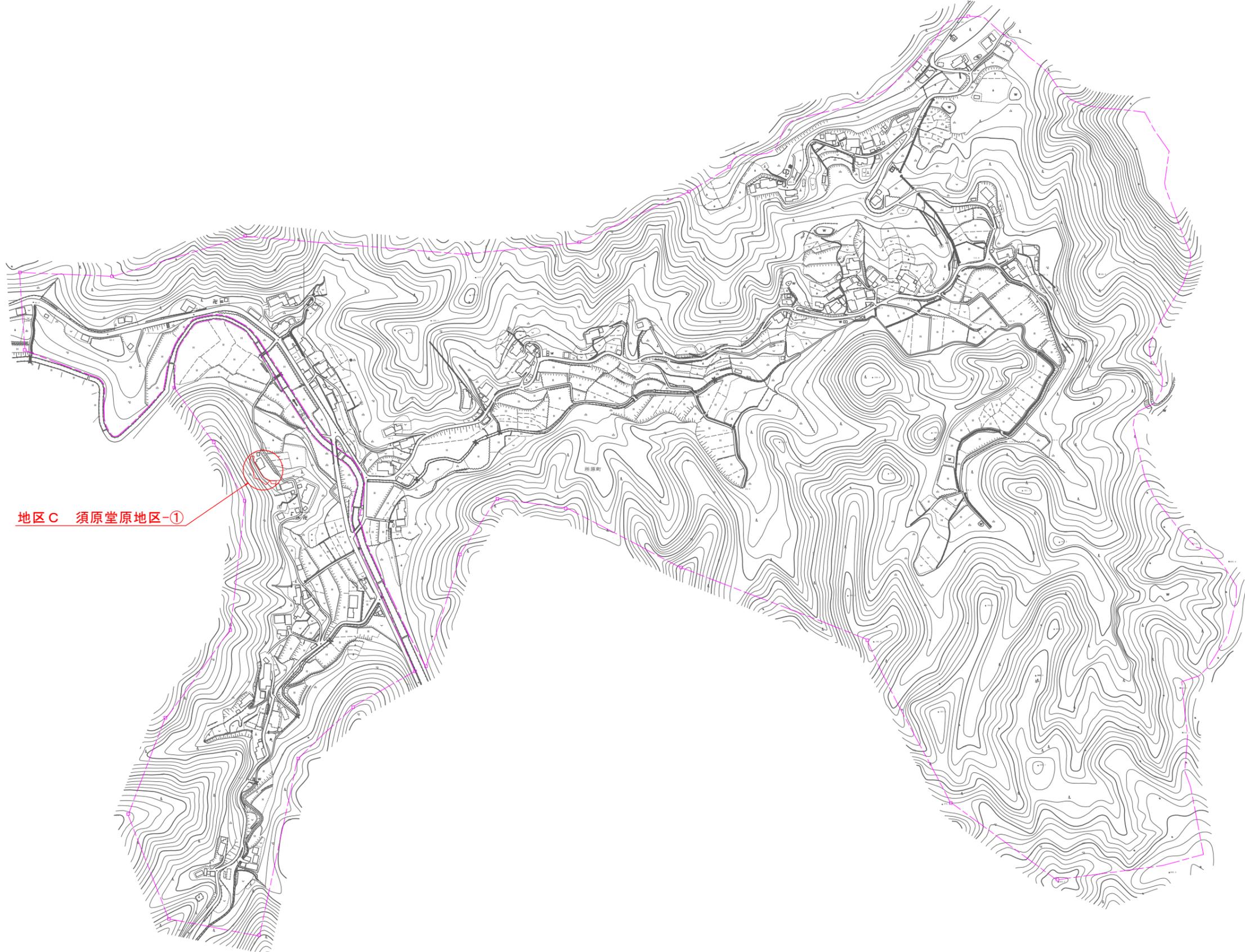


施工ヤード A=140m²  
(敷砂利t=10cm: 路盤工)

※水抜きポーリングを先行して実施する。  
現場状況により、孔口位置を調整する。  
作業運搬路による盛土を行うため孔口保護工  
及び流末パイプは後で行う。  
仮排水はポリエチレン管にて行う。

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業 出雲地区 斜面復旧(その4) 工事	
図面の名称	図面番号
地区B(角谷地区-1) (参考図) 施工計画平面図	19
縮尺	1/125 (A1), 1/250 (A3)
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

# 須原・堂原地区地すべり対策事業計画一般平面図



地区C 須原堂原地区-①

凡例	例
—	地すべり防止区域
	被害区域
	電線
	地すべり崖
—	断崖又は崩壊
⊕	湧出区・陥没区
↑	湧水
→	地すべり方向
○	排水溝工
○	集水溝工
○	集水井工
○	水抜ホーリング工
○	暗渠排水工
○	排水トンネル工
○	床工
○	杭工(コンクリート)
○	杭工(鋼管)
○	護岸擁壁工
○	押え壁工
○	埋込工
○	調査ホーリング
○	ヒズミ計設置
○	電気探査
○	地下水検層
○	サウンディング
○	移動観測線
○	雨量観測
○	自動移動計
○	雨量計
○	排水工
○	その他対策工

令和5年度 兵庫県緊急地すべり対策事業 出震地区 斜面復旧(その4) 工事	
図面の名称	図面番号
須原堂原地区 計画一般平面図	20
縮尺: 1/3000(A1), 1/6000(A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製図	原因
図	複写

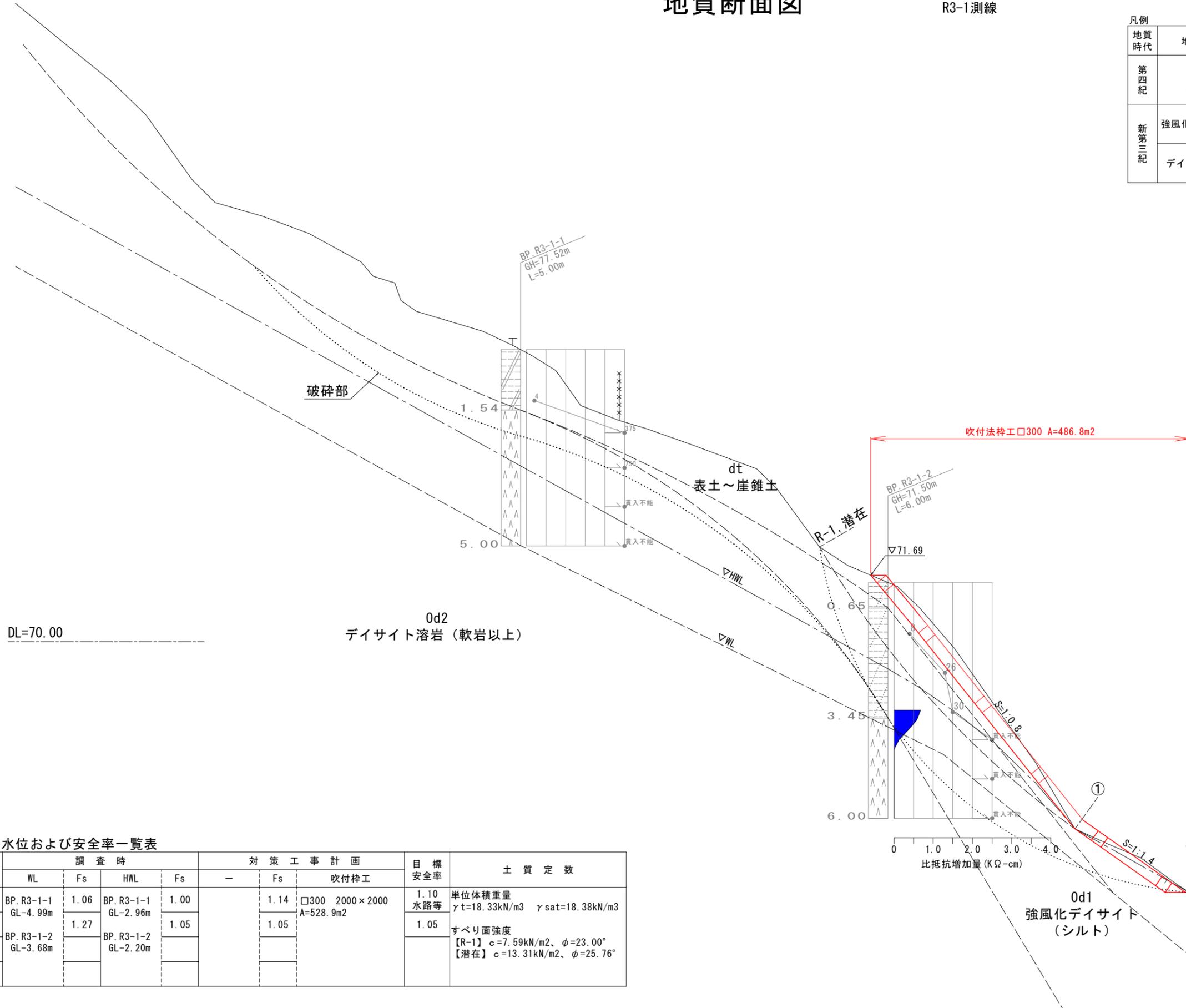


# 地質断面図

R3-1測線

凡例

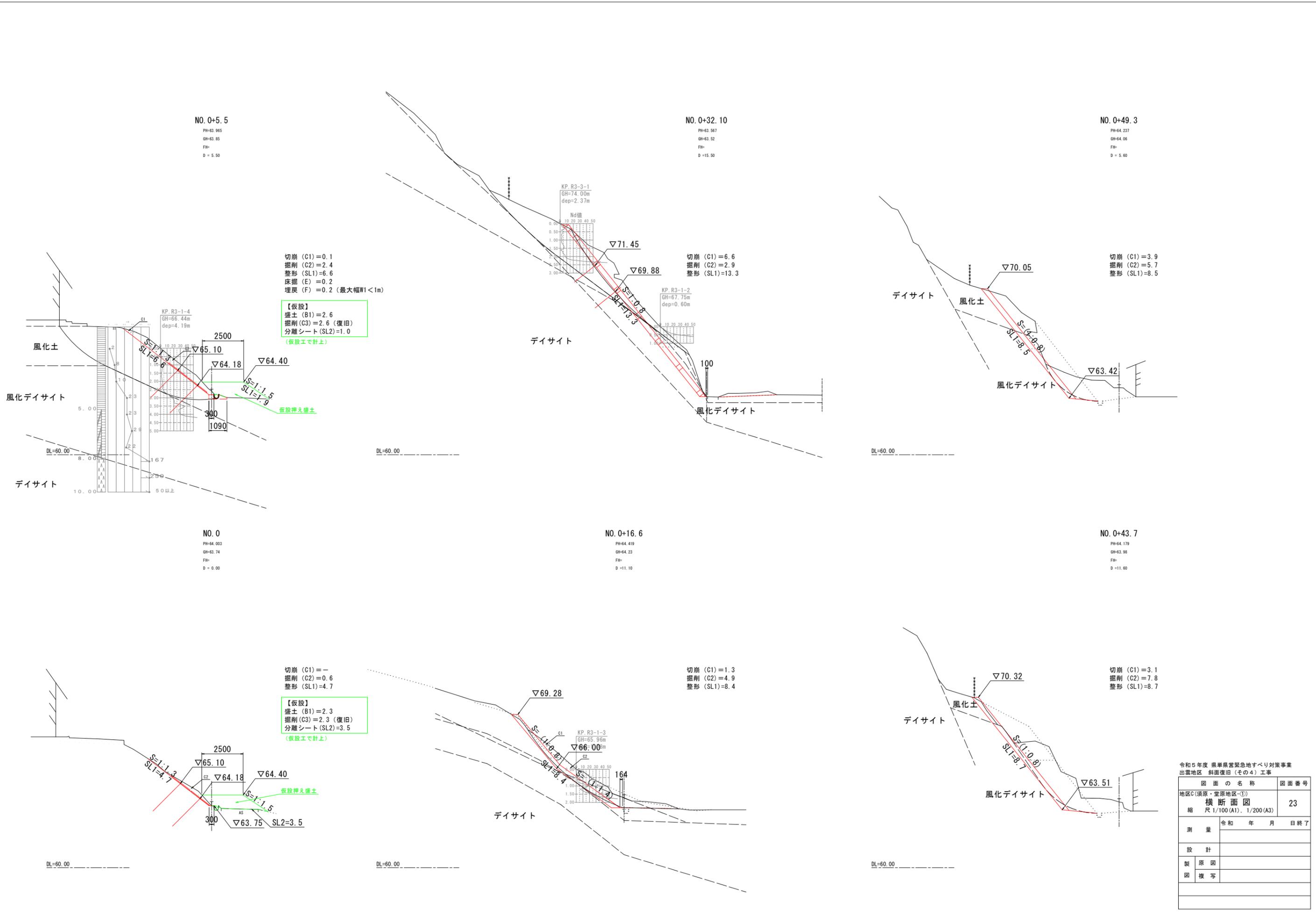
地質時代	地質区分	記号	土質区分	N値
第四紀	表土崩積土	dt	砂質～砂混りシルト	4
新第三紀	強風化デイサイト	Od1	シルト	8～30
	デイサイト溶岩	Od2	軟岩以上	375～貫入不能



地下水位および安全率一覧表

円弧番号	調査時				対策工事計画		目標安全率	土質定数
	WL	Fs	HWL	Fs	-	Fs		
1	BP. R3-1-1 GL-4.99m	1.06	BP. R3-1-1 GL-2.96m	1.00	-	1.14	1.10 水路等	単位体積重量 $\gamma_t=18.33\text{kN/m}^3$ $\gamma_{\text{sat}}=18.38\text{kN/m}^3$
潜在	BP. R3-1-2 GL-3.68m	1.27	BP. R3-1-2 GL-2.20m	1.05	吹付枠工 A=528.9m ²	1.05		

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業	
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事	
図面の名称	図面番号
地区C(須原・堂原地区-①)	22
地質断面図	
縮尺 1/50 (A1), 1/100 (A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	



切崩 (C1)=0.1  
掘削 (C2)=2.4  
整形 (SL1)=6.6  
床掘 (E)=0.2  
埋戻 (F)=0.2 (最大幅W1<1m)

【仮設】  
盛土 (B1)=2.6  
掘削 (C3)=2.6 (復旧)  
分離シート (SL2)=1.0  
(仮設工で計上)

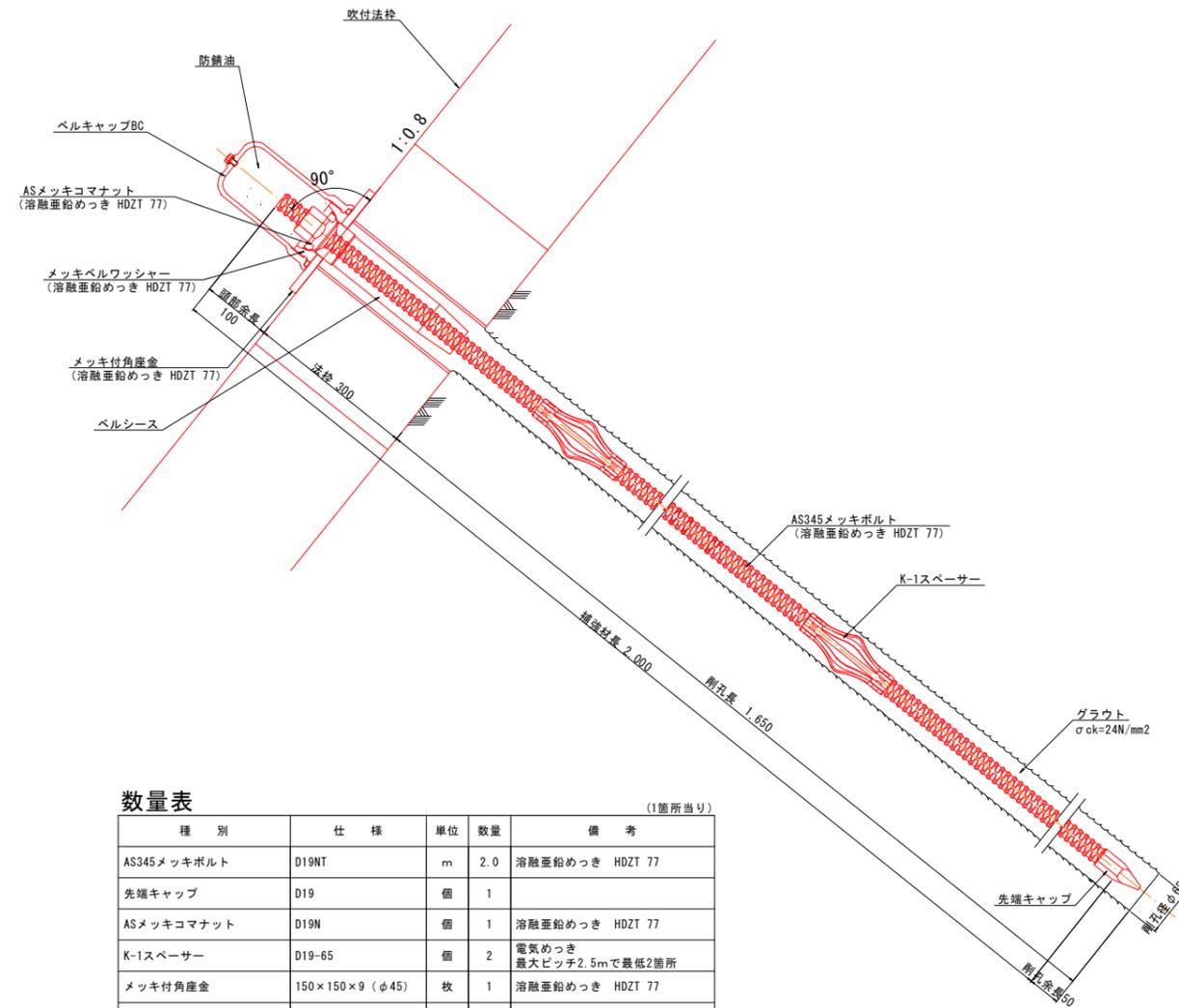
【仮設】  
盛土 (B1)=2.3  
掘削 (C3)=2.3 (復旧)  
分離シート (SL2)=3.5  
(仮設工で計上)

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業	
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事	
図面の名称	図面番号
地区C(須原・堂原地区-①)	23
横断面図	
縮尺 1/100 (A1), 1/200 (A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	



鉄筋挿入工 標準断面図

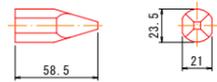
S=1:4 (A1)  
S=1:8 (A3)



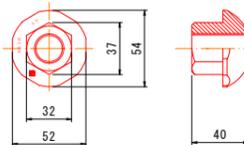
補強材部品図

S=1:2.5 (A1)  
S=1:5 (A3)

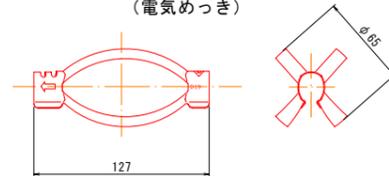
先端キャップ D19



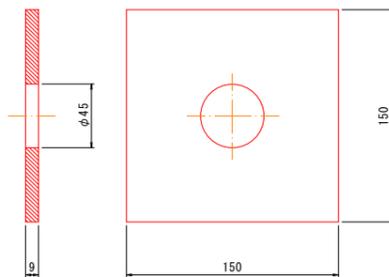
ASメッキコマナット D19N  
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



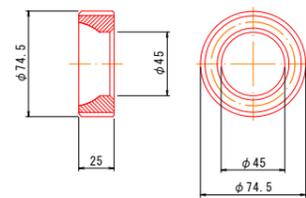
K-1スペーサー D19-65  
(電気めっき)



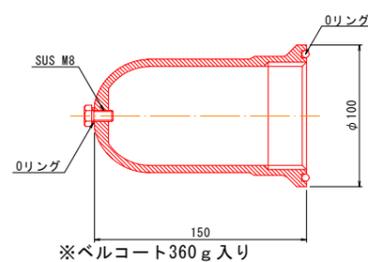
メッキ付角座金  
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



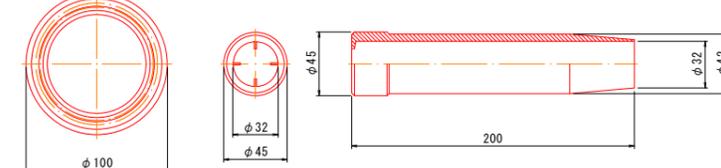
メッキベルワッシャー  
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



ベルキャップBC



ベルシース



数量表

(1箇所当たり)

種別	仕様	単位	数量	備考
AS345メッキボルト	D19NT	m	2.0	溶融亜鉛めっき HDZT 77
先端キャップ	D19	個	1	
ASメッキコマナット	D19N	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
K-1スペーサー	D19-65	個	2	電気めっき 最大ピッチ2.5mで最低2箇所
メッキ付角座金	150×150×9 (φ45)	枚	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
メッキベルワッシャー	φ74.5×25	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
ベルキャップBC	φ100×150	個	1	ベルコート360g入り
ベルシース	φ45×200	個	1	

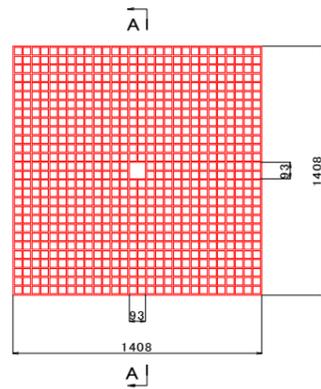
令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事

図面の名称		図面番号
地区C(須原・堂原地区-①) 鉄筋挿入工構造図(1)		25
縮尺 図示		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
図	複写	

# FRP製受圧板標準図

S=1:20 (A1)  
S=1:40 (A3)

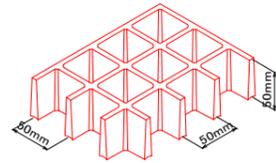
平面図



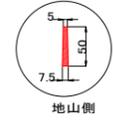
側面図



立面図



バー断面形状



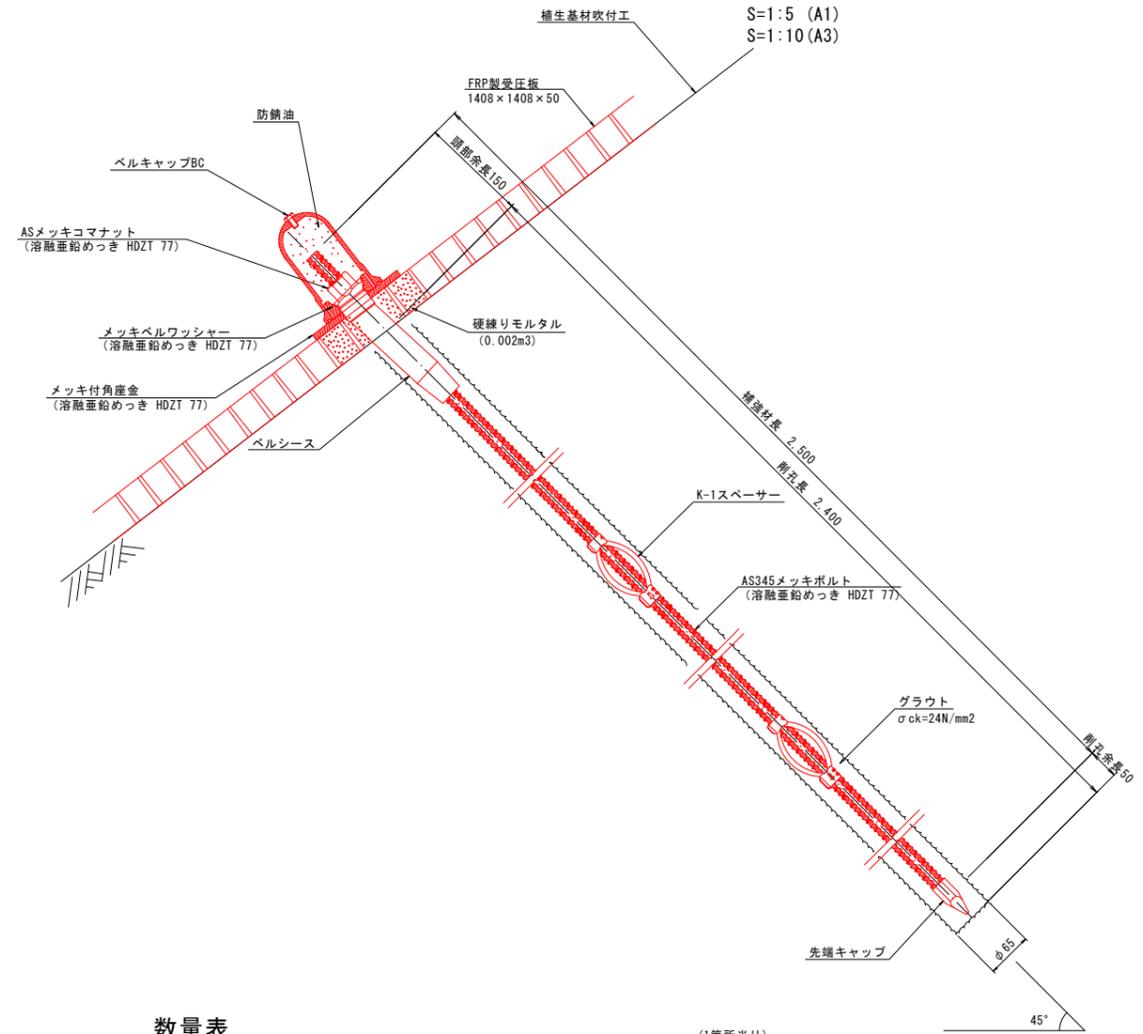
受圧板 規格

材質	FRP(連続ガラス繊維使用)
寸法	1408×1408×50 mm
重量	39.5 kg
標準色	ダークブラウン

特記  
・バイオマスマーク適合製品とする。  
・「JIS K 6911 A法」耐燃性試験にて「不燃性」評価製品とする。

# 鉄筋挿入工 標準断面図

S=1:5 (A1)  
S=1:10 (A3)



## 数量表

(1箇所当り)

種別	仕様	単位	数量	備考
AS345メッキボルト	D19NT	m	2.5	溶融亜鉛めっき HDZT 77
先端キャップ	D19	個	1	
ASメッキコマナット	D19N	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
K-1スペーサー	D19-65	個	2	電気めっき 最大ピッチ2.5mで最低2箇所
メッキ付角座金	150×150×9 (φ45)	枚	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
メッキベルワッシャー	φ74.5×25	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
ベルキャップBC	φ100×150	個	1	ベルコート360g入り
ベルシース	φ45×200	個	1	

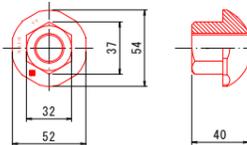
## 補強材部品図

S=1:2.5 (A1)  
S=1:5 (A3)

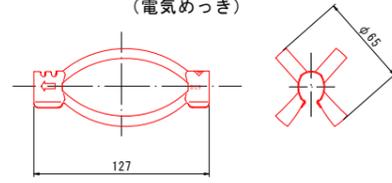
先端キャップ D19



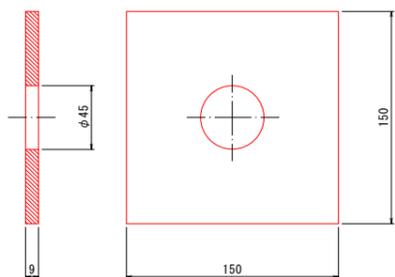
ASメッキコマナット D19N  
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



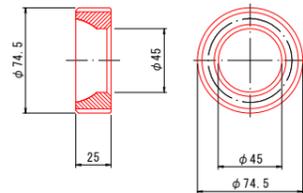
K-1スペーサーD19-65  
(電気めっき)



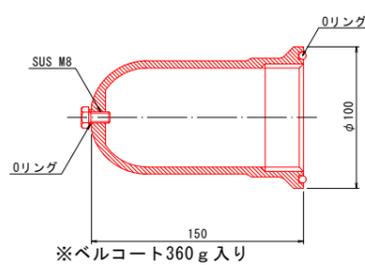
メッキ付角座金  
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



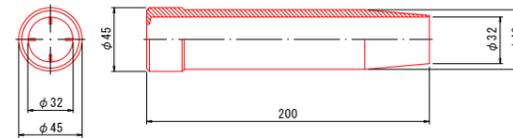
メッキベルワッシャー  
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



ベルキャップBC



ベルシース



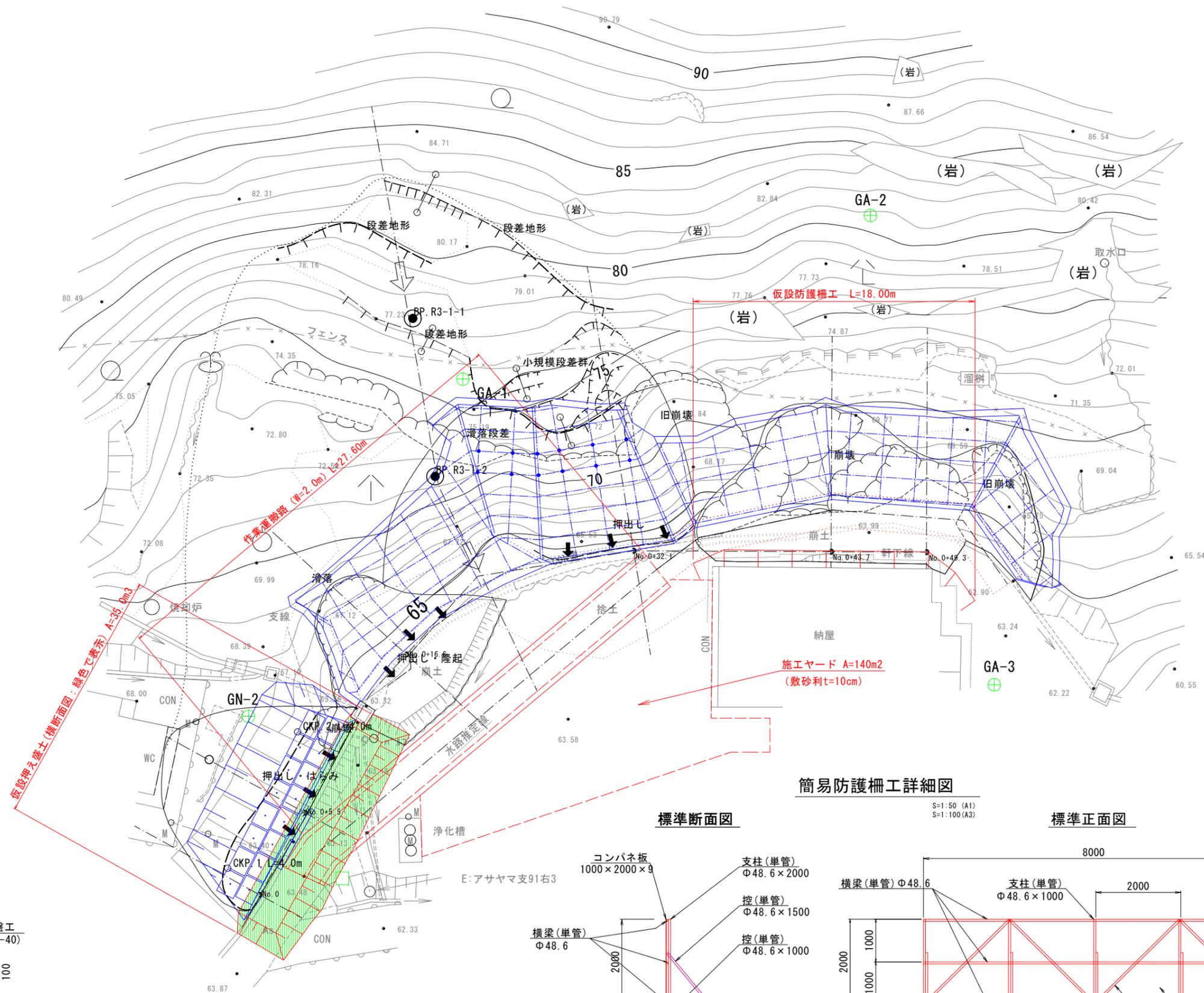
令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧(その4)工事

図面の名称	図面番号
地区C(須原・堂原地区-①) 鉄筋挿入工構造図(2)	26
縮尺 図示	
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
図	複写

# 施工計画平面図

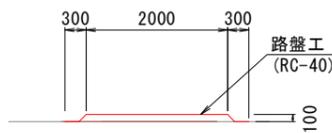


S=1:125 (A3)  
S=1:250 (A3)



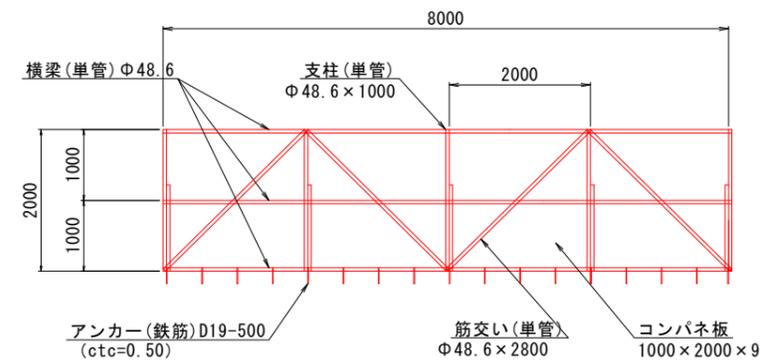
作業運搬路断面図

S=1:50 (A1)  
S=1:100 (A3)

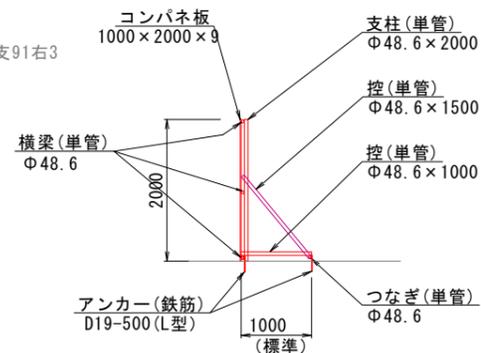


簡易防護柵工詳細図

S=1:50 (A1)  
S=1:100 (A3)



標準断面図



標準正面図

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業	
出雲地区 斜面復旧(その4)工事	
図面の名称	図面番号
地区C(須原・堂原地区①) (参考図)	27
施工計画平面図	
縮尺 1/125 (A1), 1/250 (A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	



# 計画平面図

## 1号水抜きボーリング工諸元

No	掘進長(m)	方向角	孔口間隔(m)	勾配	孔口標高(m)
1	15.00	N19.4° W	1.00	+3.0°	135.30
2	15.00	N16.0° E			
3	15.00	N50.5° E			
4	15.00	N85.6° E			
ΣL=60.00m (孔口から2m間はストレーナ加工なし)					

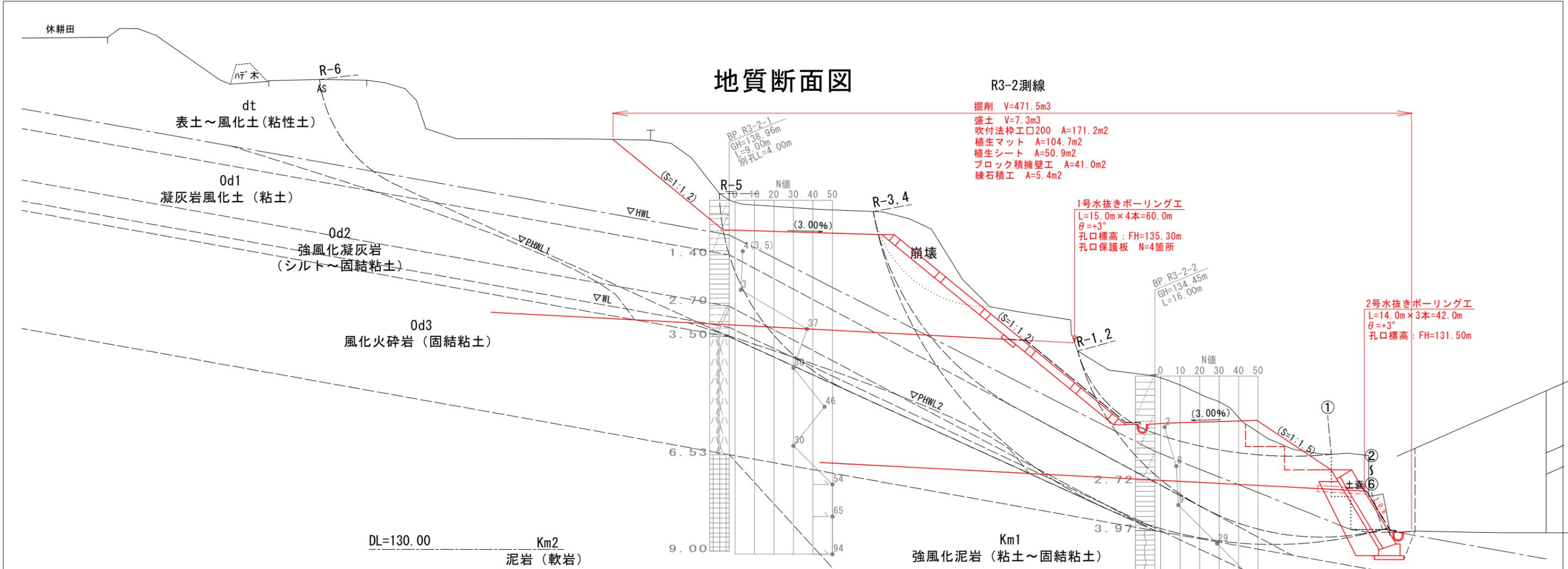
## 2号水抜きボーリング工諸元

No	掘進長(m)	方向角	孔口間隔(m)	勾配	孔口標高(m)
1	14.00	N17.0° W	2.00	+3.0°	131.50
2	14.00	N17.2° E			
3	14.00	N50.5° E			
ΣL=42.00m (孔口から2m間はストレーナ加工なし) ブロック積壁面から1.2mはVU150挿入					



令和5年度 県単県管緊急地すべり対策事業 出雲地区 斜面復旧(その4)工事	
図面の名称	図面番号
地区D(茶ノ木原地区-①) 平面図	29
縮尺 1/125 (A1), 1/250 (A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

# 地質断面図



地下水位および安全率一覧表

円弧番号	調査時				対策工事計画								目標安全率	土質定数
	WL	Fs	HWL	Fs	PHWL1	Fs	地下水排除工	PHWL1	Fs	斜面改良工	PHWL2	Fs		
1	BP. R3-2-1 GL-3.26m	1.00	BP. R3-2-1 GL-0.89m	1.00	BP. R3-2-1 GL-4.25m	1.00	1号水抜きボーリング L=15.00m/本 θ=+3°	BP. R3-2-1 GL-4.25m	2.54	排土工 押え盛土工 植生工 土留め工	BP. R3-2-1 GL-4.25m	2.54	2号水抜きボーリング L=14.00m/本 θ=+3°	単位体積重量 $\gamma_t=18.33\text{kN/m}^3$ $\gamma_{sat}=18.37\text{kN/m}^3$  すべり面強度 【R-1】 $c=1.67\text{kN/m}^2$ , $\phi=12.50^\circ$ 【R-2】 $c=5.58\text{kN/m}^2$ , $\phi=12.50^\circ$ 【R-3】 $c=9.01\text{kN/m}^2$ , $\phi=12.50^\circ$ 【R-4】 $c=10.41\text{kN/m}^2$ , $\phi=12.50^\circ$ 【R-5】 $c=11.49\text{kN/m}^2$ , $\phi=12.50^\circ$ 【R-6】 $c=11.38\text{kN/m}^2$ , $\phi=12.50^\circ$ ※ 地質・土質状況等から $\phi=12.50^\circ$ を設定し、 $c$ を逆算
2	BP. R3-2-2 GL-3.90m	1.09	BP. R3-2-2 GL-1.93m	1.00	BP. R3-2-2 GL-1.93m	1.00		BP. R3-2-2 GL-0.78m	1.47		BP. R3-2-2 GL-1.52m	1.52		
3		1.07		1.00		1.00			1.31			1.38		
4		1.14		1.00		1.00			1.21			1.33		
5		1.15		0.98		1.01			1.13			1.24		
6		1.14		0.98		1.05			1.13			1.21		
										Fs	施工時(最危険)			
										1	2.51	ブロック積床掘時		
										2	1.07			
										3	1.20			
										4	1.10			
										5	1.05			
										6	1.08			

1号水抜きボーリング工諸元

No	掘進長(m)	方向角	孔口間隔(m)	勾配	孔口標高(m)
1	15.00	N19.4° W	1.00	+3.0°	135.30
2	15.00	N16.0° E			
3	15.00	N50.5° E			
4	15.00	N85.6° E			
ΣL=60.00m (孔口から2m間はストレーナ加工なし)					

2号水抜きボーリング工諸元

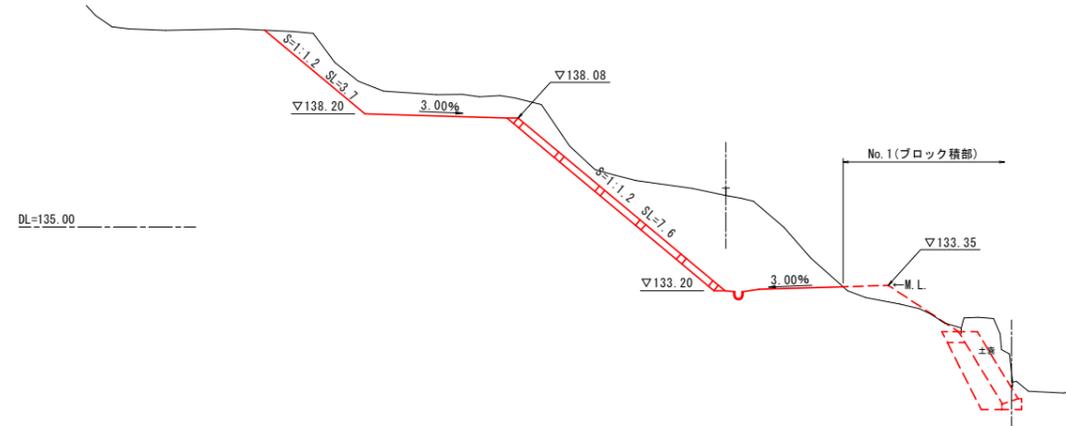
No	掘進長(m)	方向角	孔口間隔(m)	勾配	孔口標高(m)
1	14.00	N17.0° W	2.00	+3.0°	131.50
2	14.00	N17.2° E			
3	14.00	N50.5° E			
ΣL=42.00m (孔口から2m間はストレーナ加工なし) ブロック積壁面から1.2mはVU150挿入					

地質時代	地質区分	記号	土質区分	N値
第四紀	表土風化土	dt	砂混り粘土	2~8
新第三紀	凝灰岩風化土	Od1	粘土	3~9
	強風化凝灰岩	Od2	粘土	37
	風化火砕岩	Od3	固結粘土	30~46
	強風化泥岩	Km1	粘土	9~49
	泥岩	Km2	軟岩 I	54~107

令和5年度 県単県管緊急地すべり対策事業 出雲地区 斜面復旧(その4)工事	
図面の名称	図面番号
地区D(茶ノ木原地区-①) 地質断面図	30
縮尺 1/50(A1), 1/100(A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製原図	
図複写	

NO. 0+17.40

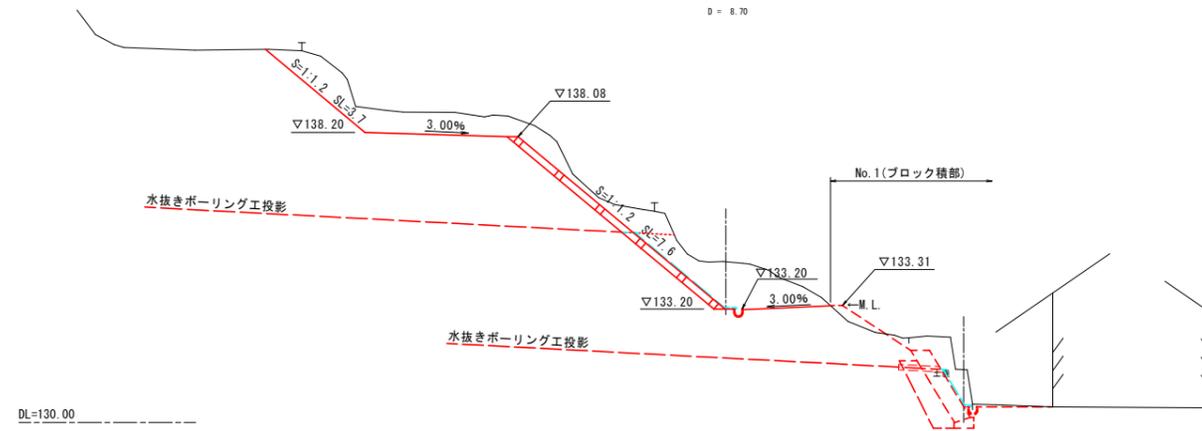
PH=136.102  
GH=135.89  
FH=  
D = 8.70



掘削 (C1) = 18.2  
法面整形 (SL1) = 11.3 (切土)

NO. 0+8.70

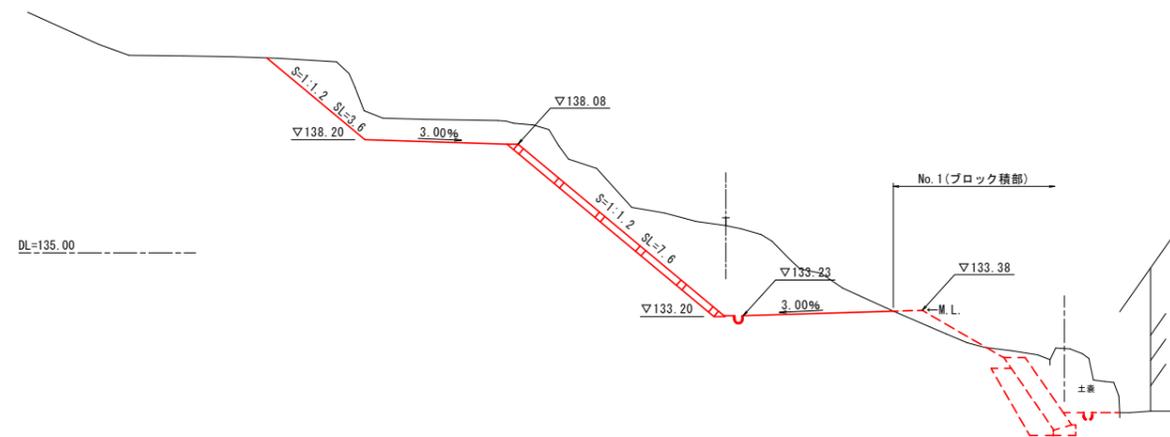
GH=134.54  
FH=  
D = 8.70



掘削 (C1) = 12.9  
法面整形 (SL1) = 11.3 (切土)

NO. 0

PH=135.990  
GH=135.77  
FH=  
D = 0.00



掘削 (C1) = 20.8  
法面整形 (SL1) = 11.2 (切土)

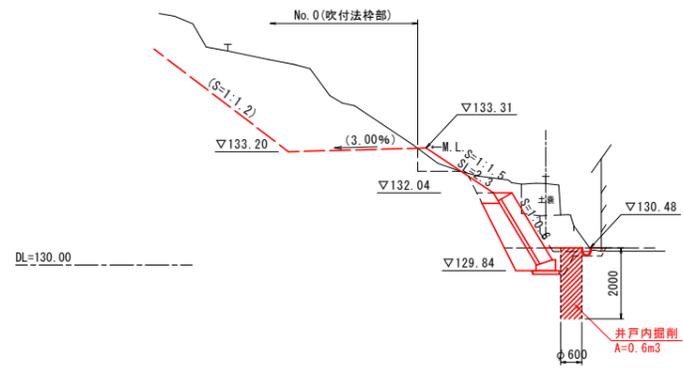
※ M.L. はNo. 1 (ブロック積部) との数量分任線を示す。

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事

図面の名称		図面番号
地区A(山寄地区-①) 横断面図(1)		31
縮尺 1/100 (A1), 1/200 (A3)		
測量	令和 年 月 日 終了	
設計		
製原図		
図複写		
NO. 0~+17.4		

NO. 1+10.00a

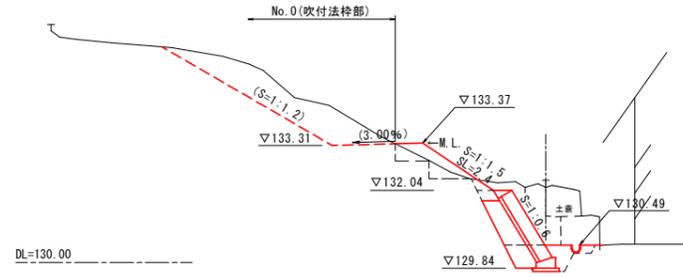
PH=132.505  
GH=132.30  
FH=  
D = 4.60



掘削 (C2) = 2.5 (小規模-標準以外)  
盛土 (B) = 0.3 (2.5m未満)  
床掘 (E) = 1.3  
埋戻 (F) = 0.7 (最大幅W1<1m)  
法面整形 (SL2) = 2.3 (盛土)

NO. 1+5.40

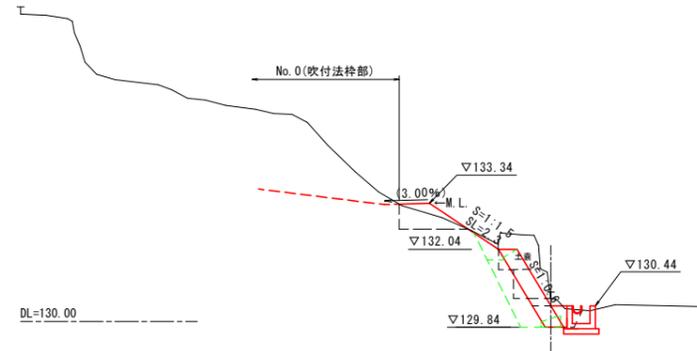
PH=132.321  
GH=132.12  
FH=  
D = 5.40



掘削 (C2) = 3.2 (小規模-標準以外)  
盛土 (B) = 0.6 (2.5m未満)  
床掘 (E) = 1.4  
埋戻 (F) = 0.6 (最大幅W1<1m)  
法面整形 (SL2) = 2.4 (盛土)

NO. 1+21.60

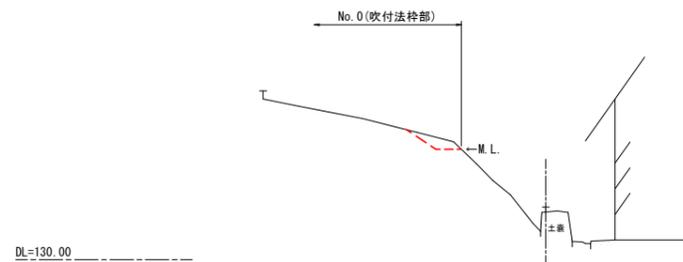
PH=130.830  
GH=130.65  
FH=  
D = 11.60



掘削 (C2) = 0.2 (小規模-標準以外)  
盛土 (B) = 0.3 (2.5m未満)  
床掘 (E) = 0.6  
埋戻 (F) = 0.3 (最大幅W1<1m)  
法面整形 (SL2) = 2.3 (盛土)

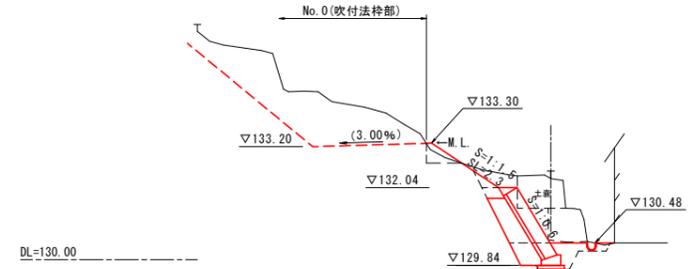
NO. 1

PH=131.490  
GH=131.35  
FH=  
D = 0.00



NO. 1+10.00b

PH=132.505  
GH=132.30  
FH=  
D = 0.00



掘削 (C2) = 2.4 (小規模-標準以外)  
盛土 (B) = 0.2 (2.5m未満)  
床掘 (E) = 1.4  
埋戻 (F) = 0.7 (最大幅W1<1m)  
法面整形 (SL2) = 2.3 (盛土)

※ M.L. はNo. 0 (吹付法枠部) との数量分任線を示す。

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事

図面の名称	図面番号
地区A(山寄地区-①) 横断面図(2)	32
縮尺 1/100 (A1), 1/200 (A3)	
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製図	
図複写	
NO. 1~+21.6	

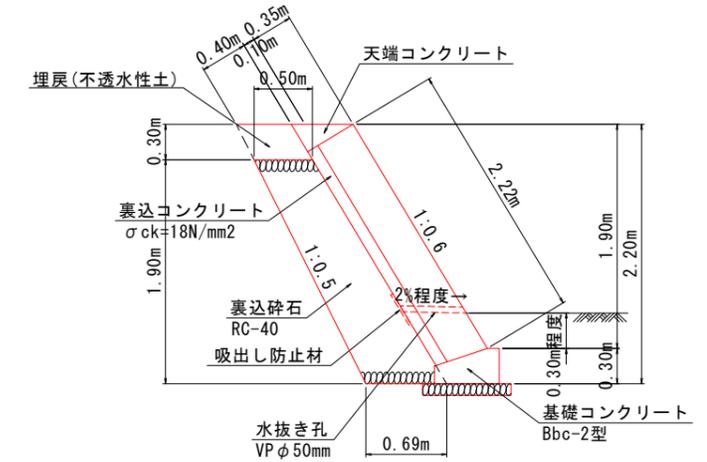
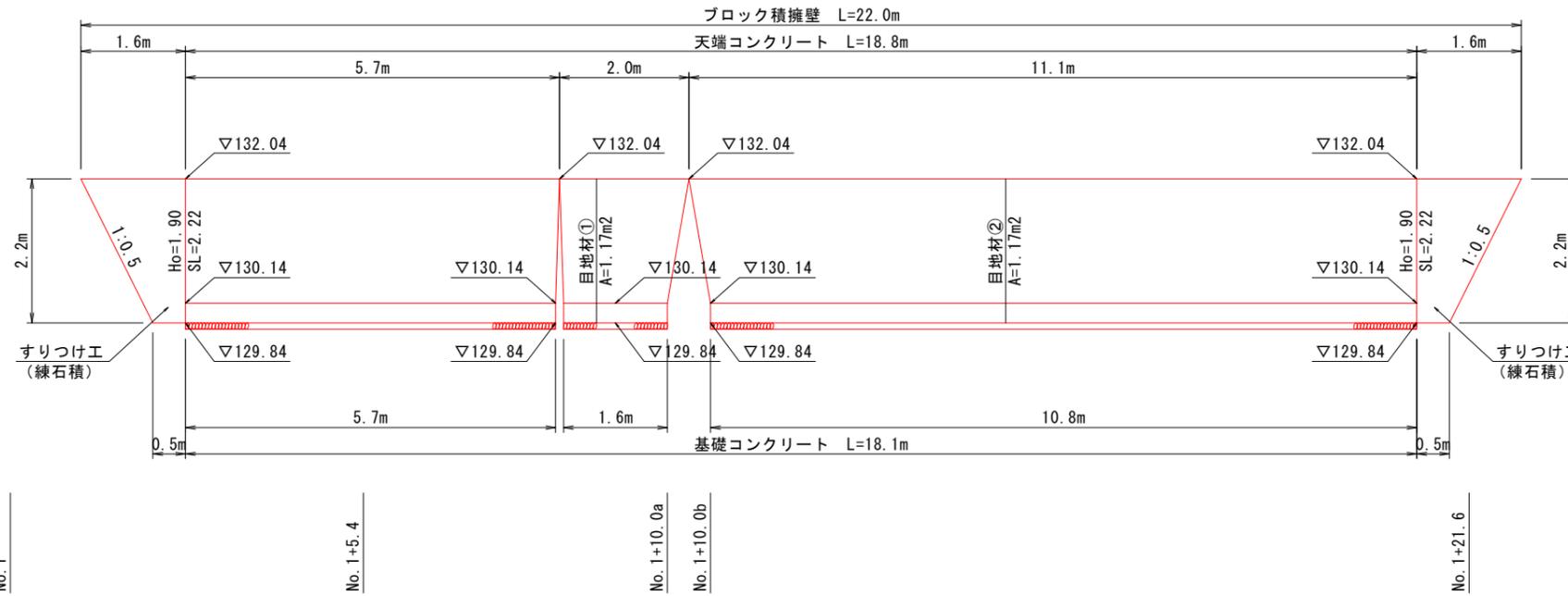
# ブロック積擁壁詳細図

## 正面図

S=1:50 (A1)  
S=1:100 (A3)

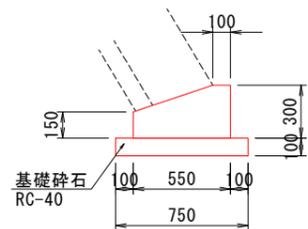
## 標準断面図

S=1:30 (A1)  
S=1:60 (A3)



### 基礎コンクリート (Bbc-2型)

S=1:20 (A1)  
S=1:40 (A3)

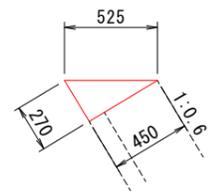


数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm2	m3	1.31
型枠		m2	4.50
基礎砕石	RC-40	m2	7.5
目地材	t=10	m2	0.13

### 天端コンクリート

S=1:20 (A1)  
S=1:40 (A3)



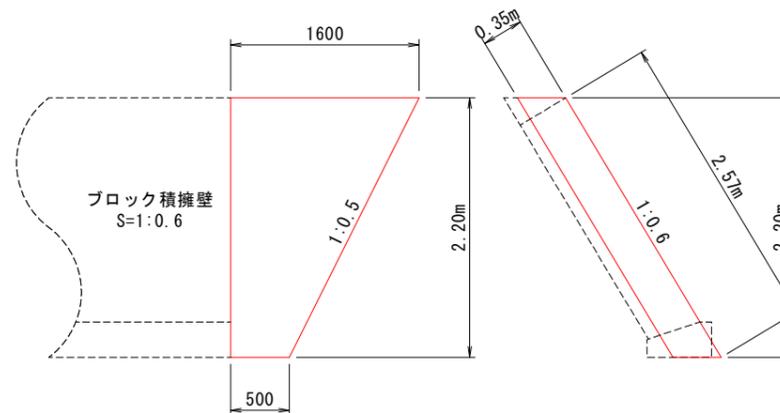
数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm2	m3	0.61
型枠		m2	2.70

### すりつけ工

(練石積 控長35cm)

S=1:30 (A1)  
S=1:60 (A3)



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
練石積	控長350	m2	2.69
水抜き孔	VP φ50mm	本	1

### <注意事項>

- 設計は「土地改良計画設計基準 設計「農道」(H17.3)」および「農地・農業用施設・海岸等 災害復旧事業の復旧工法(2014年版)」に準拠している。
- 3m2に1箇所割合で水抜き孔(VPφ50mm)を設け、水抜き孔と裏込砕石との境界(擁壁背面)には吸出し防止材を設置する。
- 擁壁および基礎には9m以下ごとに伸縮目地(t=10)を設ける。
- 基礎地盤の許容支持力は、ボーリングや標準貫入試験結果(N値)を参考に、「粘性土地盤 中位なもの」としてqa=50kN/m2を想定しているが、床掘時において局所的に軟弱部等が出現した場合には、必要に応じて追加地質調査や置換等の基礎対策を実施する。

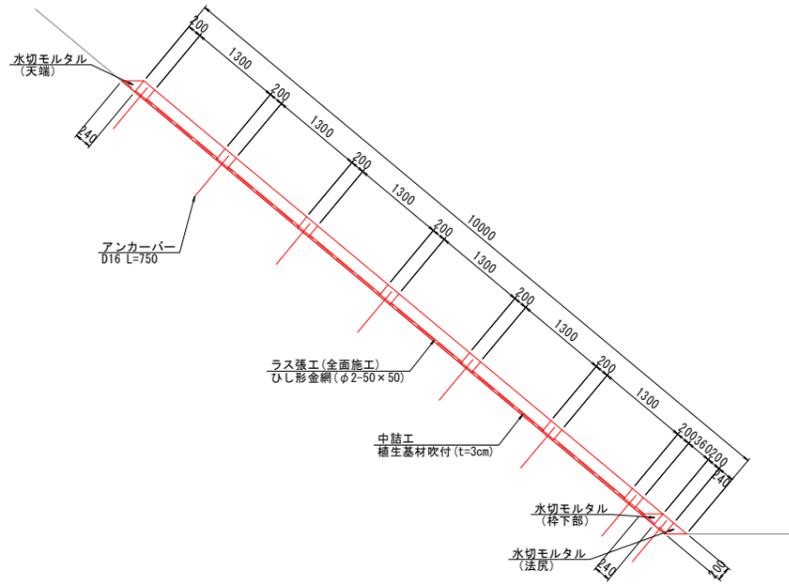
令和5年度 県単農産緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧(その4)工事

図面の名称	図面番号
地区D(茶ノ木原地区-①) ブロック積擁壁詳細図 縮尺 図示	33
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図写	

# 現場吹付法枠工構造図 (□200-1500)

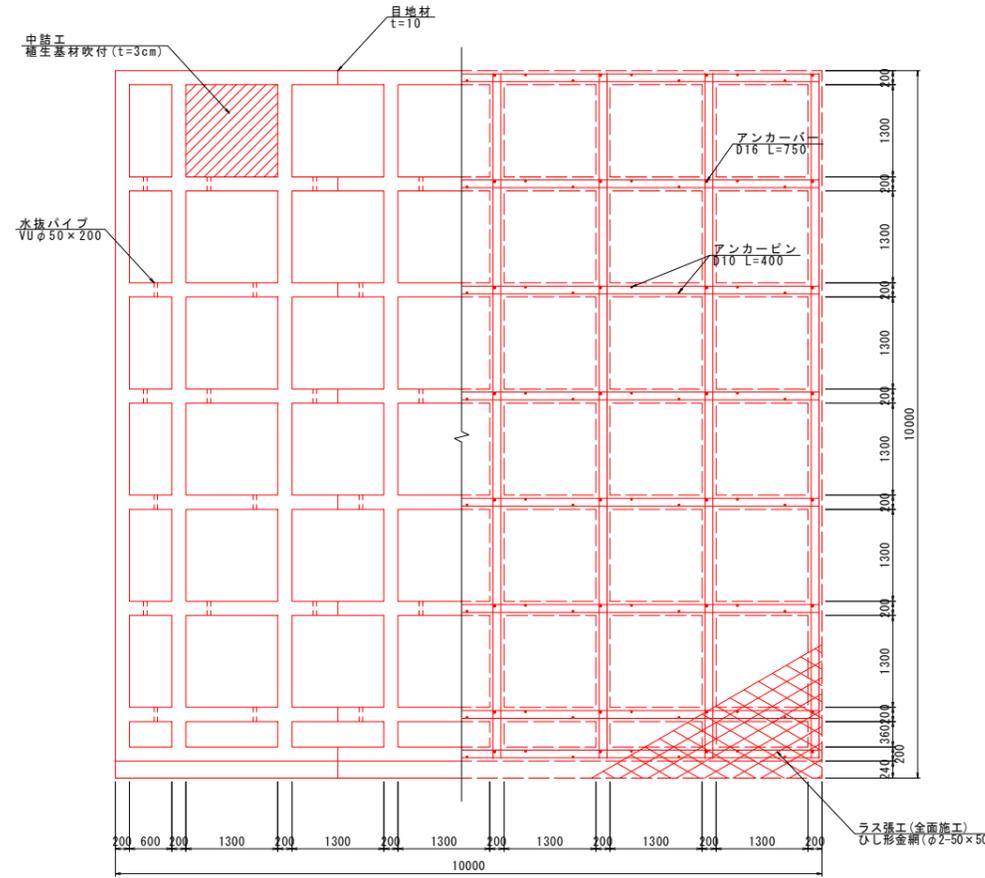
標準断面図

S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)



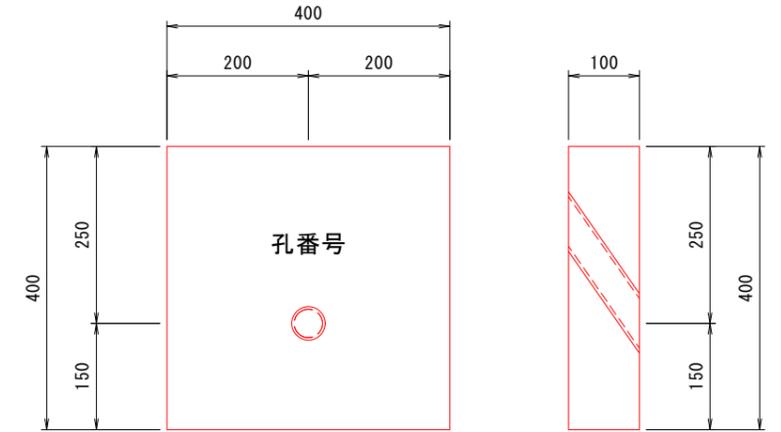
標準展開図

S=1/50 (A1)  
S=1/100 (A3)



孔口保護板詳細図

S=1:5 (A1)  
S=1:10 (A3)

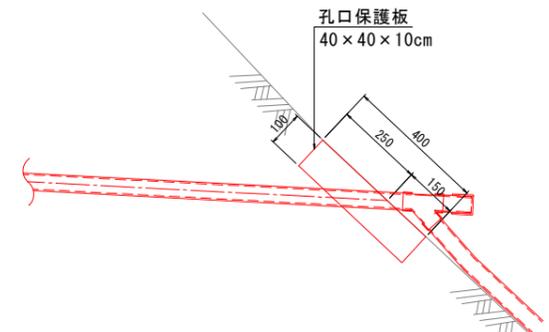


孔口保護板数量表 (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.03
型枠	小型	m ²	0.20
掘削	土砂	m ³	0.03

孔口保護工標準図

S=1:10 (A1)  
S=1:20 (A3)

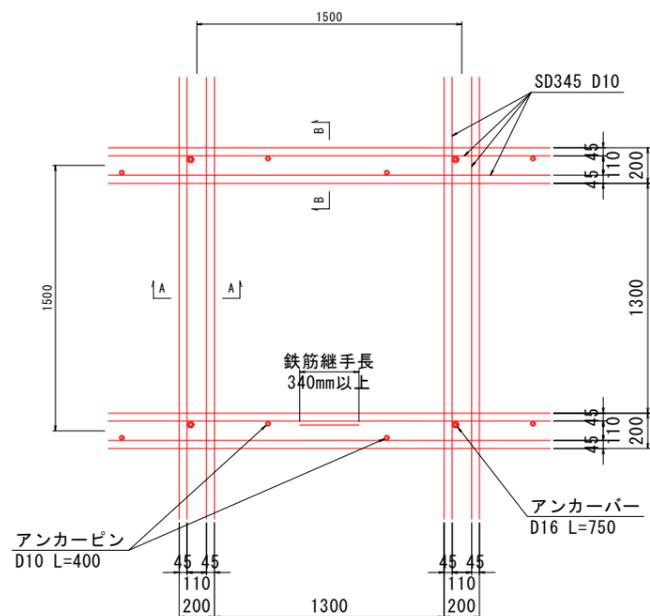


孔口部数量表 (1箇所当たり)

名称	規格	単位	数量
キャップ	VP40mm用	個	1
45° チーズ	VP40mm用	個	1

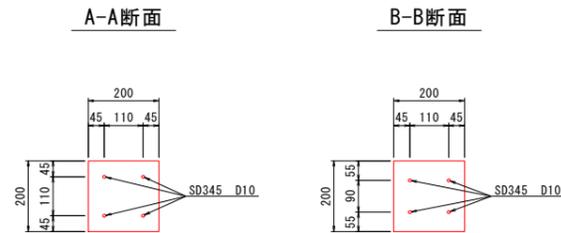
配筋図

S=1/20 (A1)  
S=1/40 (A3)



枠断面図

S=1/10 (A1)  
S=1/20 (A3)



吹付枠数量表 100m²当たり

名称	規格	単位	数量
吹付枠	200×200	m	145.28
ラス張	Φ2×50×50	m ²	100.0
水切モルタル	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.68
目地材	エラストイト	m ²	0.39
中詰材	植生基材 t=3cm	m ²	66.53

使用部材の強度及び材質

吹付モルタルの設計基準強度	σ _{ck} =18N/mm ²
鉄筋の材質	SD345

<注意事項>

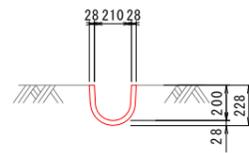
- ・鉄筋の重ね継手長は、340mm以上とする。
- ・鉄筋の継手位置は、交差点を避け、また千鳥配列等として1断面に集中しないようにする。
- ・中詰工の工種や吹付厚等については、切り取り後の法面の土壌硬度や pH 値等を計測し、再度検討する。
- ・目地材は、5~10m間隔で設ける。

令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事

図面の名称	図面番号
現場吹付法枠工構造図	34

測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製図	
原図	
複写	

UFc200布設替え

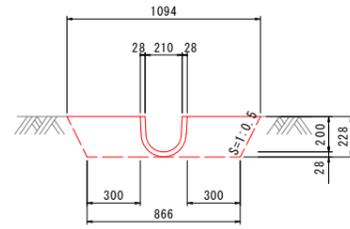


UFc200布設替え数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
水路布設	UFc200	m	10.0

※ブロック積施工時に布設する。

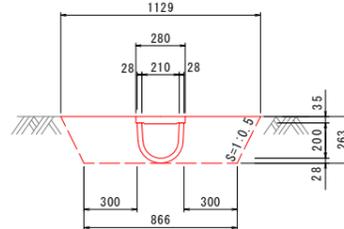
UFc200



UFc200数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	2.2
埋戻	土砂	m ³	1.7
水路布設	UFc200	m	10.0

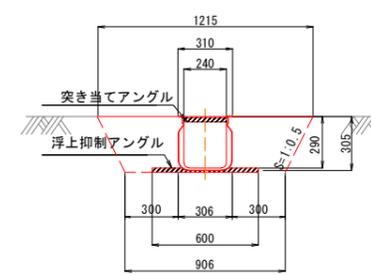
UFc200(蓋付き)



UFc200(蓋付き)数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	2.6
埋戻	土砂	m ³	2.0
水路布設	UFc200	m	10.0
水路蓋	ベンフ200	m	10.0

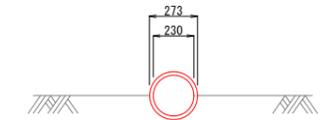
ポリエチレン角型U字溝240



SU240数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m ³	3.2
埋戻	土砂	m ³	2.4
水路布設	SU240	m	10.0

高密度ポリエチレン管φ250



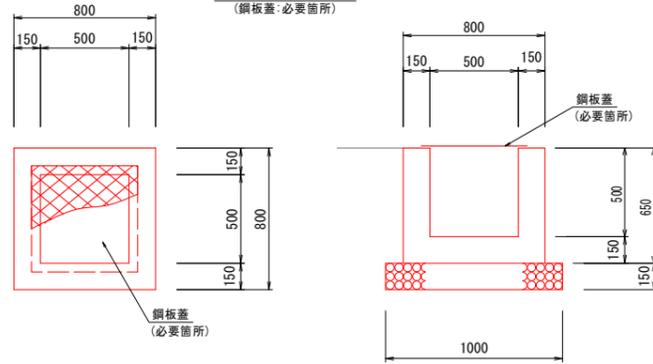
φ250数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
水路布設	φ250	m	10.0

※雑石(練)積施工時に布設する。

集水樹

W5×5-D5型  
(鋼板蓋・必要箇所)



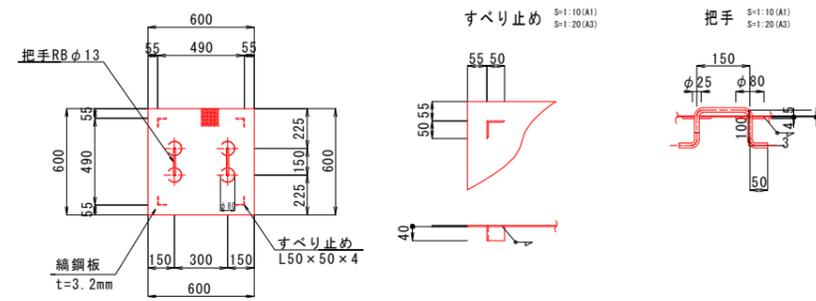
ボックス数量表 1ヶ所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.277
型枠	小構造物Ⅱ	m ²	3.19
基礎碎石	t=150 RC-40	m ²	1.00
床掘	土砂	m ²	2.3
埋戻	土砂	m ²	1.8

※標準断面図参照

鋼板蓋

(W5×5用)



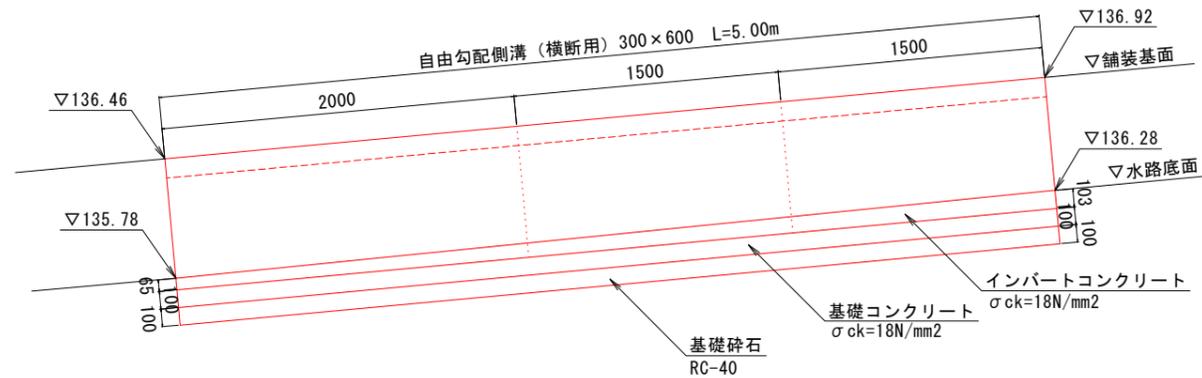
ボックス鋼板材料表 1枚当たり

名称	規格	寸法	単位質量	数量	質量(kg)
鋼板	SS400	600×3.2×600	26.79 kg/m ²	1	9.6
すべり止め	"	L50×50×4×40	3.06 kg/m	4	0.5
把手	"	RBφ13×450	1.04 kg/m	2	0.9
補強板	"	PLφ81×4.5	35.33 kg/m ²	4	0.7
					11.7

図面の名称		図面番号
地区D(茶ノ木原地区-③) 水路工構造図		35
縮尺: 1/20(A1), 1/40(A3)		
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
図	複写	

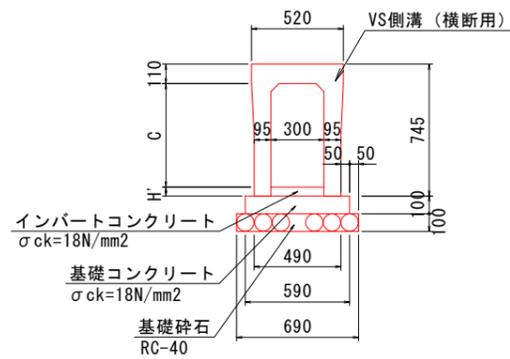


### 縦断面図



DL=135.00

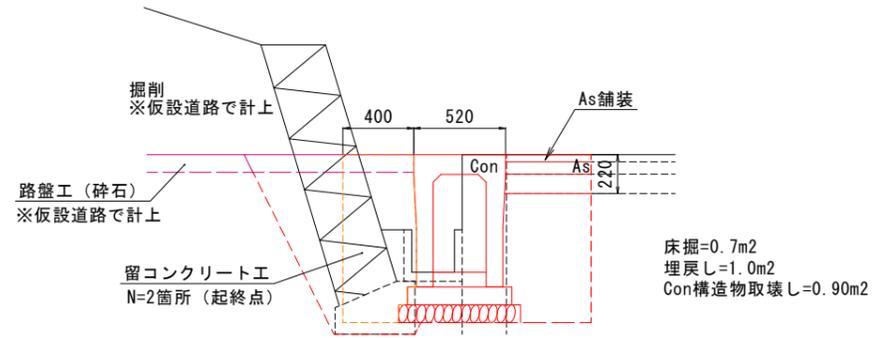
### 自由勾配側溝構造図 横断用 300×600



材料表 (自由勾配側溝 横断用300×600) 5m当り

名称	規格	単位	数量	備考
VS側溝 (横断用)	300×600 L=2m	個	1	標準品
VS側溝 (横断用)	300×600 L=1.5m	個	2	短尺品
基礎碎石	RC-40	m ²	3.450	t=100mm
基礎コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.295	t=100mm
同上型枠		m ²	1.000	
インポートコンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.126	H'=65~103mm
横断用グレーチング	横断用L=1000	枚	1	普通目
横断用グレーチング	横断用L=500	枚	2	普通目

### 標準断面図

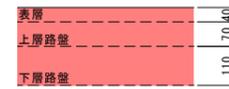


床掘=0.7m²  
埋戻し=1.0m²  
Con構造物取壊し=0.90m²

数量表 1箇所(5m)当り

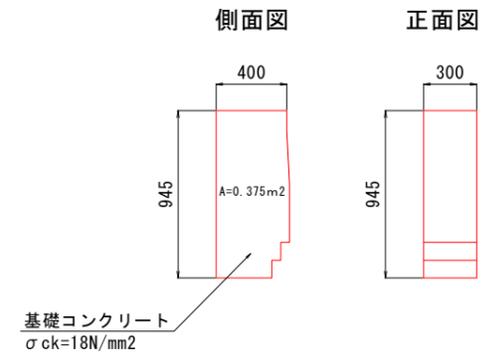
名称	規格	単位	数量
床掘		m ³	4.50
埋戻		m ³	5.50
コンクリート工	σck=18N/mm ²	m ³	0.23
同上型枠		m ²	2.10
Con構造物取壊し	無筋	m ³	4.50

### 舗装構成図



※上記構成は出雲市における標準値であり、実際の舗装厚と異なる場合があるため、現地床掘時に再度確認し、実際の舗装構成で復旧すること

### 留コンクリート



令和5年度 県単県営緊急地すべり対策事業  
出雲地区 斜面復旧 (その4) 工事

図面の名称	図面番号
地区D(茶ノ木原地区-①) 自由勾配側溝構造図 縮尺 1/20 (A1), 1/40 (A3)	37
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	
図複写	